

アプリ配信ガイド for iOS



改版履歴

改版No.	ページNo	変更内容	日時
1		制定	2014/7/9
2	全般	機能改良に伴う画像の変更	2014/10/29
2	全般	一部文言の変更	2014/10/29
3	全般	機能改良に伴う画像の変更	2015/3/26
3	12	アプリのダウンロードURLコピー時の注意事項追記	2015/3/26
4	全般	機能改良に伴う画像と文言の変更	2015/9/30
5	17,31	注意事項を追記	2016/2/12
6	23	配信結果確認方法の表現を変更	2016/3/24
6	24	インストールアプリ一覧での確認方法を追加	2016/3/24
6	32-34	In-House(自社開発)アプリのアップデート手順を修正/注意事項およびアップデート条件の追加	2016/3/24
7	13,15,16,20,38,41	機能改良に伴う画像と文言の追加	2016/7/27
7	17-19	In-House(自社開発)アプリの配信手順を修正	2016/7/27
7	23-26	配信結果確認の各項目の説明を追記	2016/7/27
7	35,36	In-House(自社開発)アプリのアップデート手順を修正	2016/7/27
8	全般	機能改良に伴う画像と文言の変更	2016/9/27
9	全般	プロビジョニングプロファイル配信機能追加に伴う画像や文言の変更	2016/12/21
10	4,24	誤字の修正	2017/2/6
11	17,36	対応ブラウザの変更に伴い、Firefoxに関する記載を削除	2017/3/1
12	16	iOS 11対応に伴い、アプリ配信時の端末側での操作について内容の追加	2017/10/3
12	18,36	iOS 11対応に伴い、In-House(自社開発)アプリの登録時、アップデート時の注意事項の追加	2017/10/3
13	5	VPP Storeで購入した有償アプリやブックの配信についての注意事項を追記	2018/3/19
13	9-11	配信したい無償アプリのURLを調べる方法を修正	2018/3/19

目次

announce

1. アプリ配信とは？ (p.4)

guide

1. アプリを配信できる人を社内で決める (p.6)

2. アプリを配信する (p.8)

2-1 配信したい無償アプリのURLを調べる (p.9)

2-2 App Storeに公開されている無償アプリを配信する (p.14)

2-3 In-House(自社開発)アプリを配信する (p.19)

3. 配信結果を確認して対処する (p.23)

3-1 アプリの配信結果を確認する (p.24)

3-2 アプリの配信が完了しない時に対処する (p.30)

4. 配信したアプリのバージョンを管理する (p.34)

4-1 App Storeで最新バージョンのアプリが公開された場合にアプリを管理する (p.35)

4-2 In-House(自社開発)アプリをアップデートする (p.37)

5. 配信したアプリを端末からアンインストールする (p.42)

5-1 配信したアプリを端末からアンインストールする (p.43)

5-2 アプリの配信設定を削除する (p.46)

6. プロビジョニングプロファイルを管理する (p.48)

6-1 プロビジョニングプロファイルとは？ (p.49)

6-2 プロビジョニングプロファイルを配信する (p.50)

6-3 プロビジョニングプロファイルの配信結果を確認する (p.54)

6-4 プロビジョニングプロファイルの配信が完了しない時に再配信する (p.57)

6-5 配信したプロビジョニングプロファイルを端末から
アンインストールする (p.58)

6-6 プロビジョニングプロファイルの配信設定を削除する (p.60)

お問い合わせ先 (p.62)

アプリ配信とは？

1-1 アプリ配信とは？

announce

1

アプリ配信とは？

1-1

アプリ配信とは、管理対象のiOS端末に対して「App Storeに公開されている無償アプリ」や「In-House(自社開発)アプリ」、「VPPストアで購入した有償アプリやブック」を配信できる機能です。この機能では以下の4点を実現できます。

1. 以下の3種類のアプリを、LanScope Anで管理しているiOS端末に配信できます
 - ・ App Storeに公開されている無償アプリ
 - ・ In-House(自社開発)アプリ
 - ・ VPP Storeで購入した有償アプリやブック
2. 配信したアプリが端末からアンインストールされても、自動的に再配信されます
3. 配信したアプリのうち、管理者が推奨するバージョンと異なるアプリがインストールされている端末を一覧で確認できます
4. 配信したアプリをアンインストールできます

上記により、企業のアプリ管理の負担を減らすことができます。

※App Storeに公開されている無償アプリを配布した場合、アプリのインストール時に端末側でApple IDのパスワード入力が求められます。

※上記の他に、配信したIn-House(自社開発)アプリの操作ログを管理コンソールから確認することも可能です。ただし、In-House(自社開発)アプリ作成時に、特定の設定を組み込んでおく必要があります。アプリ開発者向けの設定組み込み手順が必要な場合は、別途お問い合わせください (p.61)。

※VPP Storeで購入した有償アプリやブックの配信には、別途オプション「LanScope An VPPライセンス」の購入が必要です。詳しい操作手順については「Volume Purchase Program(VPP)機能ガイド for iOS」をご参照ください。

アプリを配信できる人を社内で決める

アプリの配信設定を行なうために、管理コンソールのログインアカウントに権限を付与します。
権限を付与されたアカウントのみiOS端末にアプリを配信できます。

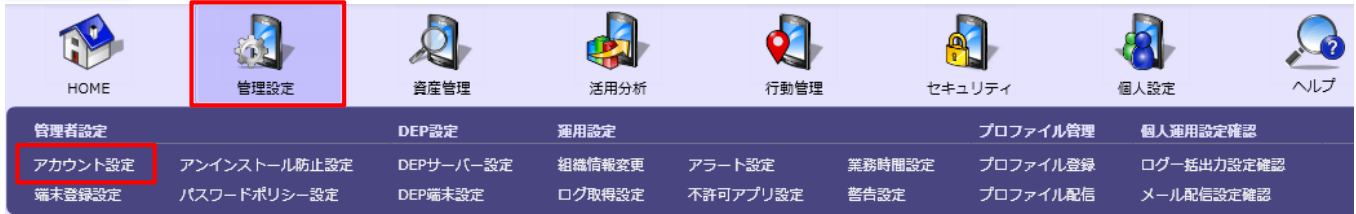
1-1 アプリを配信できる人を社内で決める

guide

1

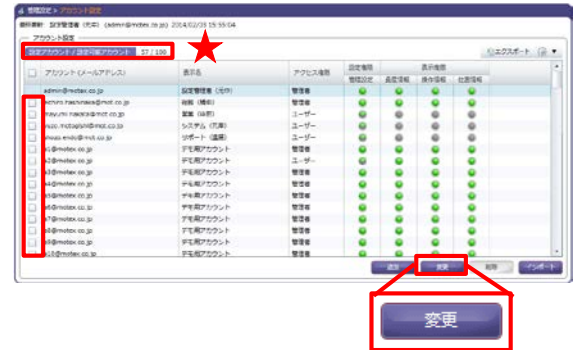
アプリを配信できる人を社内で決める

1-1



1. 「管理設定」メニューを選択し「アカウント設定」をクリックします。
2. アプリの配信権限を付与したいアカウントにチェックを入れ、「変更」をクリックします。
3. 「アカウント設定の変更」が開きますので、「設定権限」タブにある「iOSアプリを登録・配信する権限を付与する」にチェックを入れ「OK」をクリックします。
4. 情報ダイアログが表示されますので「OK」をクリックします。

【アカウント設定】



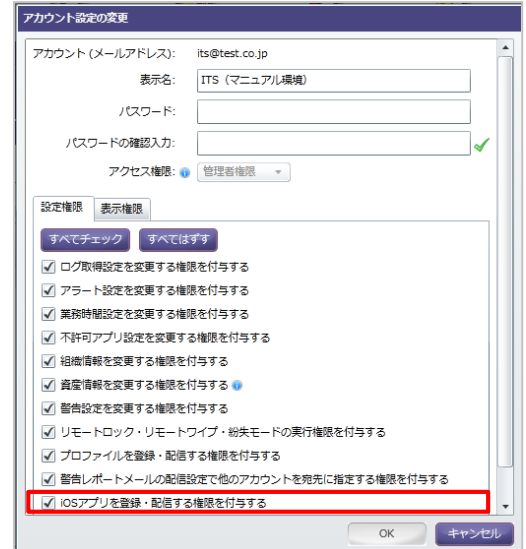
◆ポイント

新規にアカウントを作成する場合

1. 「管理設定」メニューを選択して「アカウント設定」をクリックし、「追加」をクリックします。
2. アカウント(メールアドレス)・表示名・パスワード・アクセス権を設定します。
3. 「設定権限」タブにある「iOSアプリを登録・配信する権限を付与する」にチェックを入れて「次へ」をクリックします。
4. 「通知内容の設定」が開きますので必要に応じて「追加するアカウント宛にメールを送信する」にチェックを入れて「件名」と「本文」を編集し、「次へ」をクリックします。
※メールを送信しない場合は「OK」をクリックして完了です。
5. 「件名」「本文」を編集し「次へ」をクリックします。
6. 「通知内容のプレビュー」を確認し、問題がなければ「OK」をクリックします。追加したアカウントのメールアドレス宛てに、アカウント追加のお知らせメールが送信されます。

※作成可能なアカウント数は、保有ライセンス数によって異なります。アカウントの追加が可能かどうかは「アカウント設定」左上にある「設定アカウント/設定可能アカウント」(★)から確認します。

【アカウント設定の変更】



アプリを配信する

App Storeに公開されている無償アプリや、In-House(自社開発)アプリをiOS端末に配信します。業務に必要なアプリを端末に遠隔で配信できます。

- 2-1 配信したい無償アプリのURLを調べる
- 2-2 App Storeに公開されている無償アプリを配信する
- 2-3 In-House(自社開発)アプリを配信する

guide

2

配信したい無償アプリのURLを調べる

2-1

App Storeに公開されている無償アプリを配信する際は、そのアプリを公開しているURLが必要です。URLがわからない場合は、「PCでLink Makerを利用して確認する」「PCでブラウザから検索して確認する」「iOS端末でApp Storeを利用して確認する」のいずれかの方法で調べてください。なお、In-House(自社開発)アプリを配信する際はこの手順は不要です。

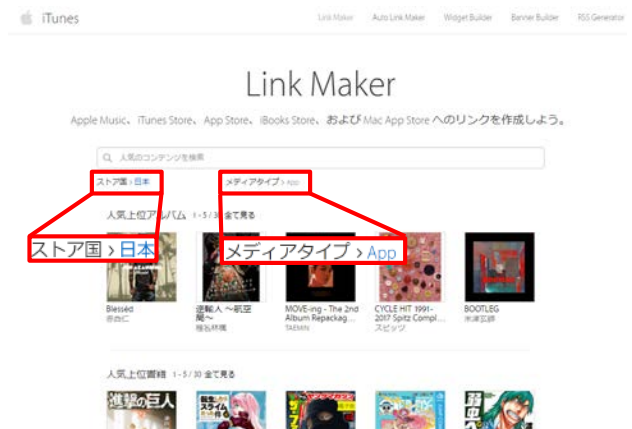
※有償アプリについては「Volume Purchase Program(VPP)機能ガイド for iOS」を参照してください(利用には別途オプション「LanScope An VPPライセンス」の購入が必要です)。

◆PCでLink Makerを利用して確認する

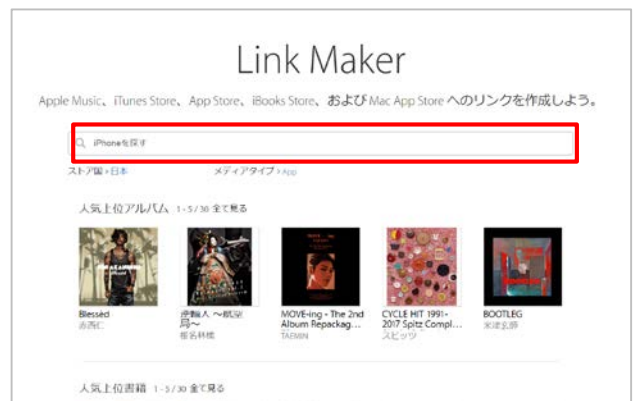
1. PCでブラウザを起動し、以下のURLにアクセスします。

<https://linkmaker.itunes.apple.com/ja-jp>

2. 「ストア国」で「日本」を選択し、「メディアタイプ」で「App」を選択します。



3. アプリの名前を検索するなどの方法で、配信したいアプリを探します。



5. 配信したいアプリをクリックします。



6. 「直リンク」右側のURLを右クリックし、「リンクのアドレスのコピー」をクリックします。



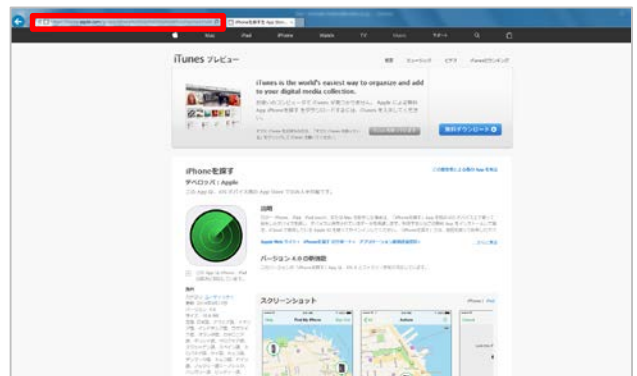
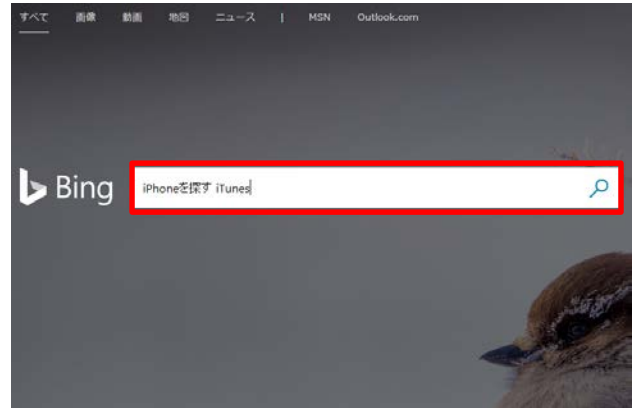
埋め込みコード ①

```
<a style="background: url('https://linkmaker.itunes.apple.com/assets/shared/badges/ja-jp/appstore-l-135px-40px-overflow-hidden-display-inline-block'); href='https://itunes.apple.com/jp/app/iphone%E3%82%92%E6%8E%A2%E3%81%99/id376101648?mt=8'></a>
```

直リンク: <https://itunes.apple.com/jp/app/iphone%E3%82%92%E6%8E%A2%E3%81%99/id376101648?mt=8>

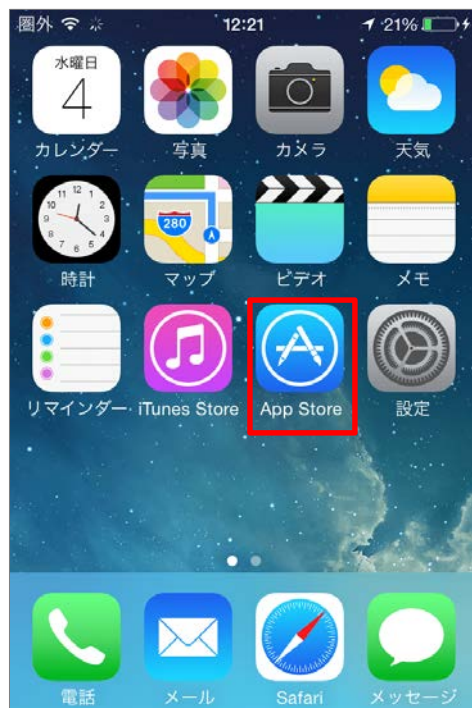
◆PCでブラウザから検索して確認する

1. PCでブラウザを起動し、「配信したいアプリ名 iTunes」で検索します。
2. 検索結果のうち、URLが「https://itunes.apple.com」で始まるサイトをクリックします。
3. iTunesのサイトが表示されるので、画面上部のURLをコピーします。



◆iOS端末でApp Storeを利用して確認する

1. iOS端末で「App Store」をタップします。



2. アプリの名前を検索する方法で、配信したいアプリを探します。

3. 配信したいアプリをタップします。



4. 共有ボタン()をタップします。



5. 以下のような方法で、管理コンソールを操作するPCにURLを共有します。

- ・「メールで送信」をタップしてメールでPCにURLを送信する
- ・「リンクをコピー」をタップしてオンラインノートツールに書き込む

◆注意

iOS8の場合、短縮されたURLがメール送信・コピーされますが、短縮されたURLのままではLanScope Anで利用できません。一旦PCのブラウザでURLにアクセスすると、元のURLが表示されますので、そのURLをコピーして次ページ以降の設定を行ってください。



App Storeに公開されている無償アプリを配信する



App Storeに公開されている無償アプリをLanScope Anで配信します。

※ 既にアプリの登録が完了している場合は、手順6以降の内容で端末にアプリを配信してください。

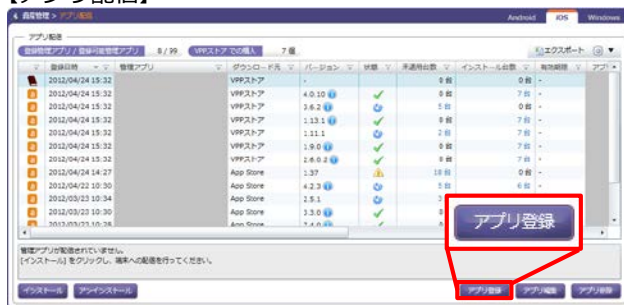
1. 「資産管理」メニューを選択し「アプリ配信」をクリックします。
2. 「アプリ登録」をクリックします。
3. 「App Store」を選択し、「iTunes StoreのURL」欄に「配信したい無償アプリのURLを調べる」(p.9)で確認した、配信したいアプリのURLを入力して「取得」をクリックします。
4. 基本情報欄に配信するアプリの情報が自動的に反映されます。ここで表示される「バージョン」が管理者が推奨するバージョン＝「管理バージョン」(※)となります。

任意でメモ欄にコメントを記入してから「OK」をクリックします。

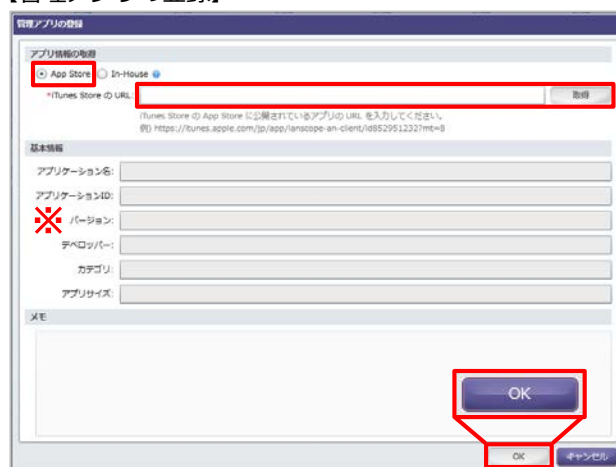
※「管理バージョン」とは、該当アプリの基準となるバージョンを指します。「管理バージョン」と異なるバージョンのアプリがインストールされていないかを管理コンソールから確認することも可能です。詳細は「App Storeで最新バージョンのアプリが公開された場合にアプリを管理する」(p.34)を参照してください。

5. ダイアログが表示されますので、「OK」をクリックします。

【アプリ配信】



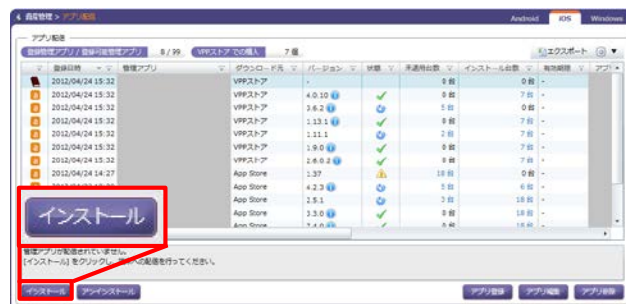
【管理アプリの登録】



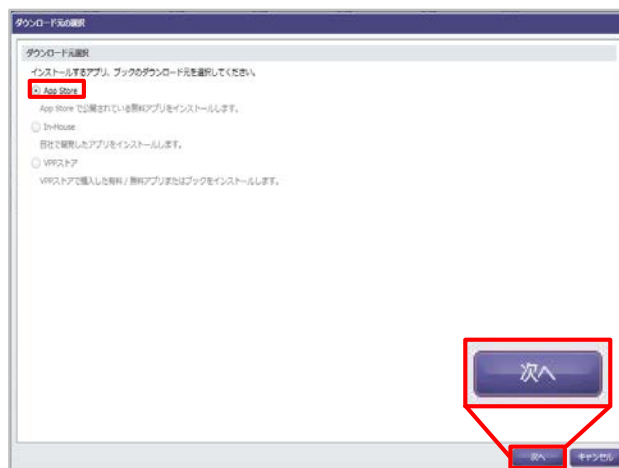
【情報ダイアログ】



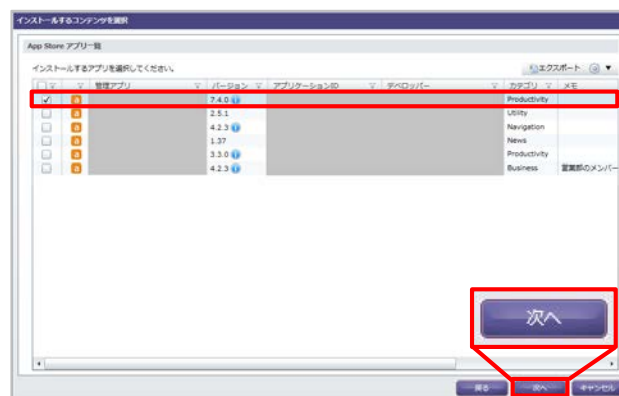
6. アプリ配信画面に戻るので、「インストール」をクリックします。



7. 「App Store」を選択し、「次へ」をクリックします。



8. 配信するアプリにチェックをいれて「次へ」をクリックします。



9. アプリを配信する端末にチェックをいれて「インストール」をクリックします。

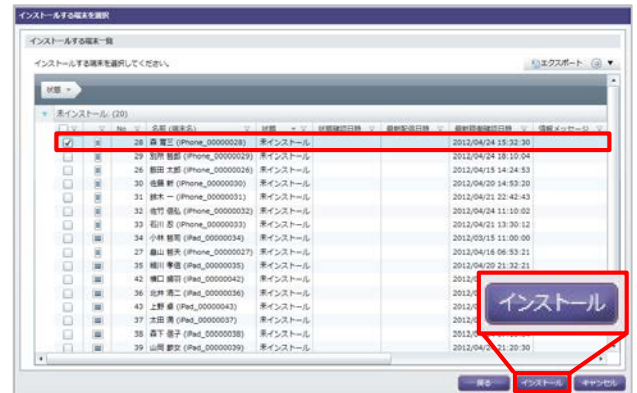
※既にVPP Storeで同一のアプリが配信されている場合は、App Storeのアプリを配信できません。

VPP Storeのアプリを配布するか、(App Storeのアプリを配信したい場合は)VPP Storeのアプリをアンインストールする必要があります。詳細は「Volume Purchase Program(VPP) 機能ガイド for iOS」を参照してください。

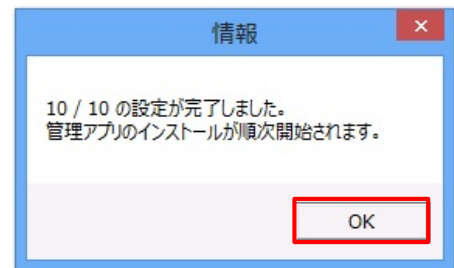
10. 配信の結果をダイアログで表示します。
確認したら「OK」をクリックして閉じます。
(失敗の場合は「OK」をクリックすると「アプリ配信」画面に戻ります。)

※インストールが失敗する場合、サーバーが停止していたりネットワークへの接続が不安定な場合が考えられます。
ネットワークが切断されていないか確認する、または、しばらく待ってからご利用ください。

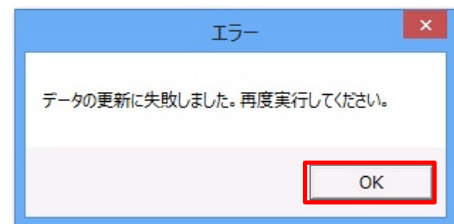
【インストールする端末を選択】



【インストールが成功した場合のダイアログ】



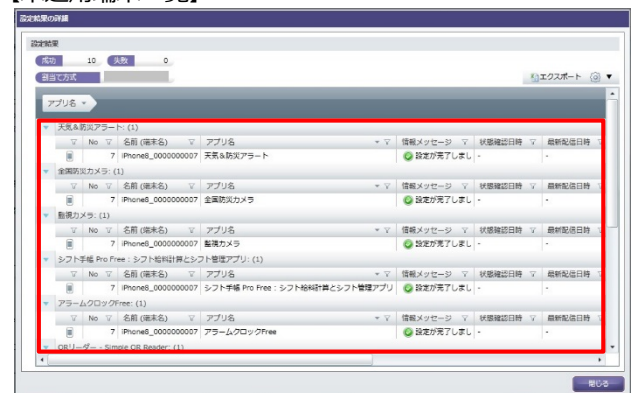
【インストールが失敗した場合のダイアログ】



11. 「設定結果の詳細」画面で、配信結果の詳細を確認します。

以上でアプリの配信設定は完了です。端末にアプリのインストールダイアログが表示されます。(次ページ参照)

【未適用端末一覧】



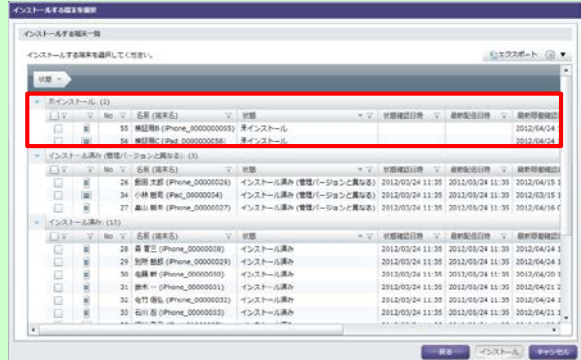
◆ポイント

• 端末のグルーピングについて

「インストールする端末を選択」画面では、「未インストール」、「インストール済み（管理バージョンと異なる）」、「インストール済み」の状態ごとに端末が表示されています。例えば以下のような運用が可能です。

- 配信対象のアプリがインストールされていない端末を「未インストール」の一覧から確認し、配信する

(例)



• 端末側での操作について

アプリが配信されると、端末側にインストールダイアログが表示されます(右図)(※)。インストールをタップして、Apple IDのパスワードを入力してインストールを実行します。

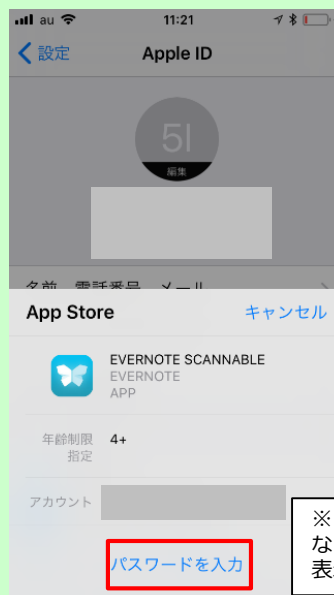
iOS 11の場合、「Appのインストール」ダイアログでインストールをタップした後、「App Store」ダイアログが表示されます(右下図)。

「パスワードを入力」が表示されましたら「パスワードを入力」をタップします。Apple IDのパスワードを入力し、「インストール」をタップすると、インストールが実行されます。「インストール」が表示されましたら、「インストール」をタップすると、インストールが実行されます。



- なお、次の手順を実施した場合は、An構成プロファイルのインストール時から12時間周期で実施されている、端末からの資産情報収集のタイミングで、再度アプリが配信されます。

- インストールダイアログで「戻る」をタップした場合
- 端末にアプリが配信された後、アプリをアンインストールした場合



※ 「パスワードを入力」ではなく、「インストール」と表示される場合があります。

◆注意

- アプリ配信画面から登録した管理アプリを削除した場合、次の動作に影響します。
 - ・ 該当アプリのアンインストール設定ができなくなります(p.41)。
 - ・ 端末からアプリがアンインストールされた場合に、自動的に再配信されなくなります。
- 1度に配信するアプリと端末の数が1000を超える場合、配信設定に時間がかかる場合があります。
 - ・ 1度に配信可能なアプリと端末の数は、アプリ数と端末台数の積が1000までを目安としてください。
 - 例 1) アプリ数 1 × 端末台数1000 = 1000
 - 例 2) アプリ数 5 × 端末台数200 = 1000
 - 例 3) アプリ数10 × 端末台数100 = 1000

In-House(自社開発)アプリを配信する

2-3



iOS向けIn-House(自社開発)アプリをLanScope Anで配信します。

※ 既にアプリの登録が完了している場合は、手順7以降の手順で端末にアプリを配信してください。

1. 「資産管理」メニューを選択し「アプリ配信」をクリックします。
2. 「アプリ登録」をクリックします。
3. 「In-House」を選択し、「マニフェストファイル」の「参照」をクリックします。
インストールするマニフェストファイルを選択してください。

◆注意

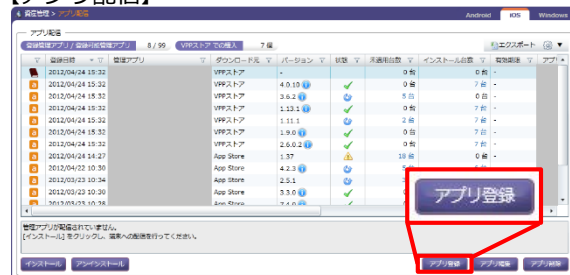
- ・「manifest.plist」ファイルに記載される値「Display Image URL」と「Full Size Image URL」には、接続できるURLを設定してください。
- ・Xcode9でIn-House(自社開発)アプリを開発した場合、「manifest.plist」ファイルを選択してください。

4. 「アプリファイル」の「アップロード」をクリックします。アップロードダイアログより、インストールするアプリファイルを選択し「OK」をクリックします。アップロードできるファイルの拡張子は【.ipa】です。
JavaScriptが無効である場合、「アップロード」をクリック時にエラーが表示されます。その際はJavaScriptを有効にしてください。
5. 基本情報欄に配信するアプリの情報が自動的に反映されます。確認して問題がなければ、任意でメモ欄にコメントを記入してから、「OK」をクリックします。

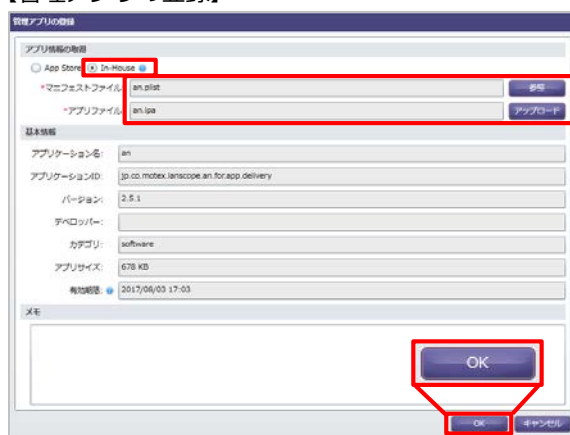
◆注意

アプリファイルのファイルサイズが600MBを超える場合、In-House(自社開発)アプリは登録できません。

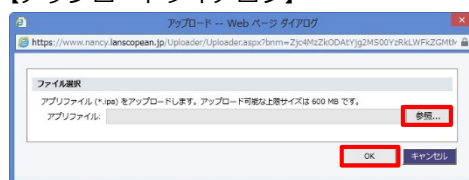
【アプリ配信】



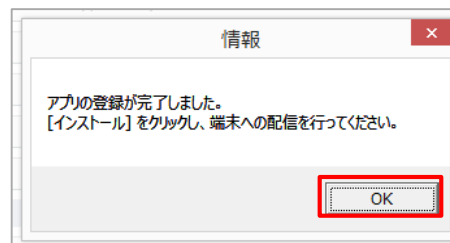
【管理アプリの登録】



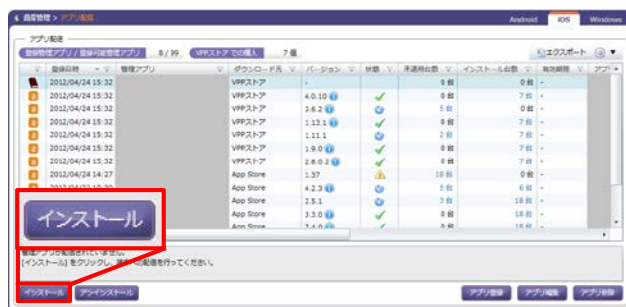
【アップロードダイアログ】



6. ダイアログが表示されますので「OK」をクリックして閉じます。



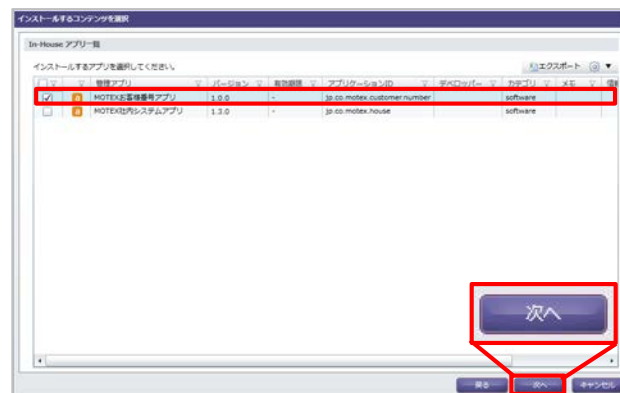
7. アプリ配信画面に戻るので、「インストール」をクリックします。



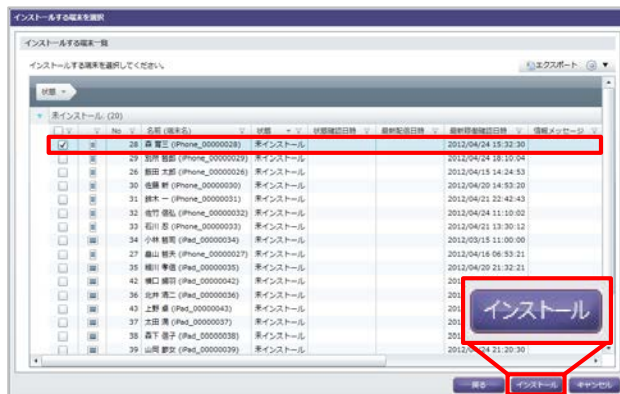
8. 「In-House」を選択し、「次へ」をクリックします。



9. 配信するアプリにチェックをいれて「次へ」をクリックします。



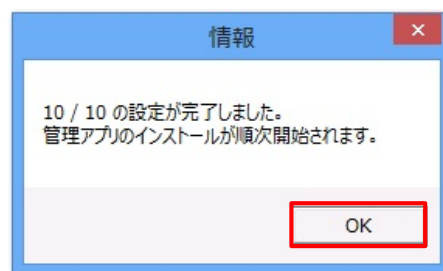
10. アプリを配信したい端末にチェックをいれて「インストール」をクリックします。



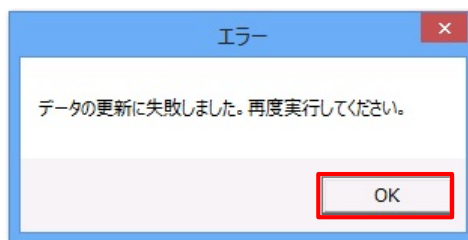
11. 配信の結果をダイアログで表示します。
確認したら「OK」をクリックして閉じます。
(失敗の場合は「OK」をクリックすると「アプリ配信」画面に戻ります。)

※インストールが失敗する場合、サーバーが停止していたり、ネットワークが不調な場合が考えられます。
対処方法としては、ネットワークが切断されていないか確認する、または、しばらく待ってからご利用ください。

【インストールが成功した場合のダイアログ】



【インストールが失敗した場合のダイアログ】



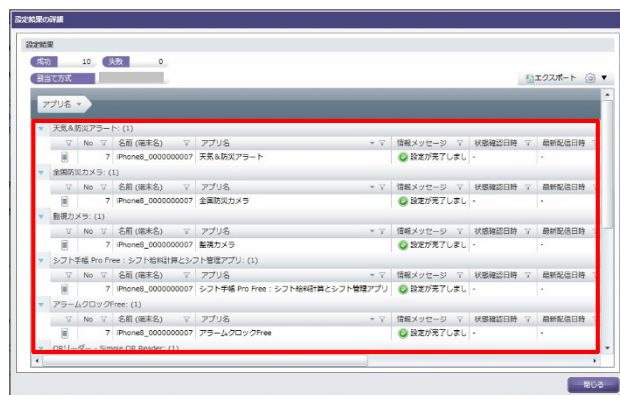
12. 「設定結果の詳細」画面で、配信結果の詳細を確認します。

以上でアプリの配信設定は完了です。端末にアプリのインストールダイアログが表示されます。(次ページ参照)

◆ポイント

• プロビジョニングプロファイルの配信について

配信したアプリに含まれるプロビジョニングプロファイルを更新する場合は、「プロビジョニングプロファイルを管理する」(p.47)を参照してください。



◆注意

- アプリ配信画面から登録した管理アプリを削除した場合、次の動作に影響します。
 - 該当アプリのアンインストール設定ができなくなります(p.41)。
 - 端末からアプリがアンインストールされた場合に、自動的に再配信されなくなります。
- 配信設定したIn-House(自社開発)アプリを、管理コンソールからダウンロードすることはできません。

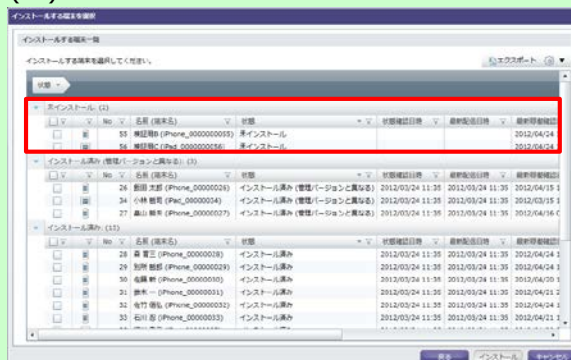
アプリが手元に必要な場合は、削除せず残しておくようにしてください。

- 1度に配信するアプリと端末の数が1000を超える場合、配信設定に時間がかかる場合があります。
 - 1度に配信可能なアプリと端末の数は、アプリ数と端末台数の積が1000までを目安としてください。
例 1) アプリ数 1 × 端末台数1000 = 1000
例 2) アプリ数 5 × 端末台数200 = 1000
例 3) アプリ数10 × 端末台数100 = 1000

◆ポイント

- 端末のグルーピングについて
「インストールする端末を選択」画面では、「未インストール」、「インストール済み(管理バージョンと異なる)」、「インストール済み」の状態ごとに端末が表示されています。例えば以下のような運用が可能です。
- 配信対象のアプリがインストールされていない端末を「未インストール」の一覧から確認し、配信する
- 端末側での操作について

(例)



アプリが配信されると、端末側にインストールダイアログが表示されます(右図)(※)。インストールをタップしてインストールを実行します。

なお、次の手順を実施した場合は、An構成プロファイルインストールから12時間周期で実施されている、端末からの資産情報収集のタイミングで、再度アプリが配信されます。

- インストールダイアログで「戻る」をタップした場合
- 端末にアプリが配信された後、アプリをアンインストールした場合

※iOS 7以降、かつ、(iOSの機能である)「監視モード」に設定している端末の場合、インストールダイアログは表示されません。



配信結果を確認して対処する

アプリの配信結果を管理コンソールから確認します。配信が完了しない場合は、配信結果の内容をもとに対処します。

- 3-1 アプリの配信結果を確認する
- 3-2 アプリの配信が完了しない時に対処する

guide

3

アプリの配信結果を確認する

3-1



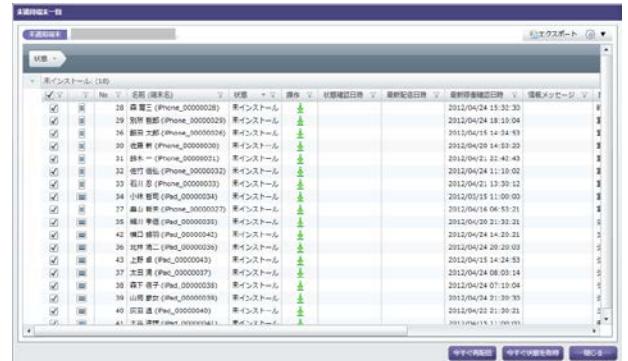
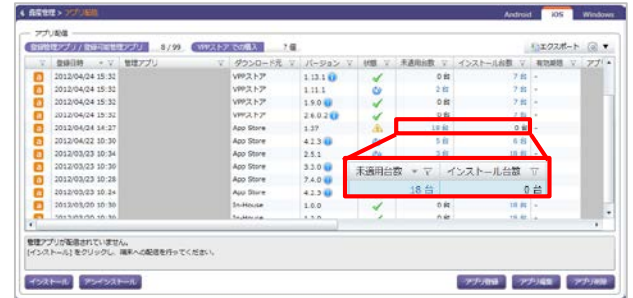
1. 「資産管理」メニューを選択し「アプリ配信」をクリックします。
2. 「管理アプリ」列から該当のアプリを確認し、「未適用台数」と「インストール台数」を確認します。

未適用端末がある場合は詳細を確認するために「未適用台数」をクリックします。

3. 未適用端末の一覧画面で「状態」を確認します。表示された「状態」をもとに、「アプリの配信が完了しない時に対処する」(p.29)を確認して対処します。

※「状態アイコン」「未適用台数/インストール台数」の説明については、次のページを参照してください。

【アプリ配信】



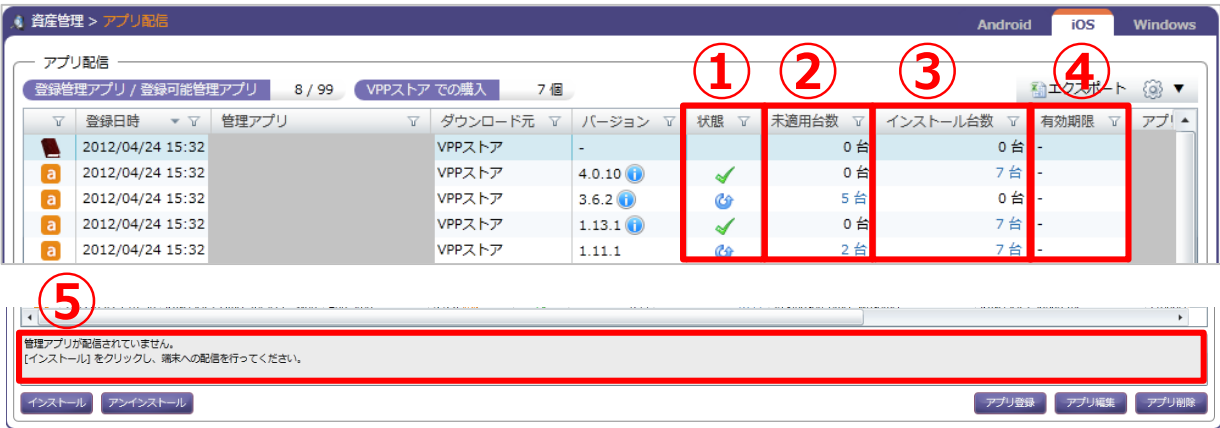
◆ポイント

アプリの配信結果を、今すぐ管理コンソールに反映したい場合

アプリの配信結果は、通常、(LanScope An導入時にインストールする)An構成プロファイルの登録から12時間周期で更新されます。すぐに確認したい場合は「すぐに配信アプリのインストール状況を確認する」(p.31)の手順で更新してください。

◆ 各項目の説明-アプリ配信

「アプリ配信」画面で、アプリの配信結果を確認する際に参照する項目について説明します。



①状態

アプリの配信状態を表すアイコンが表示されます。アイコンの意味は次のとおりです。

アイコン	状態	説明
	配信完了	未適用端末なし（配信した端末全てインストール済み）
	配信中	配信中端末あり（未適用端末に配信中端末あり）
なし	配信端末なし	配信端末なし

②未適用台数

次の状態にあてはまる端末の合計台数が表示されます。クリックすると各端末の状態を確認できます。

状態	説明
未インストール	配信したアプリがまだインストールされていない端末です。
インストール済み（手動インストール）※	配信以前に端末利用者がアプリを手動でインストールしていた端末です。
インストール済み（管理バージョンと異なる）※	配信設定時に指定した管理バージョンと一致していないバージョンのアプリがインストールされている端末です。

③インストール台数

次の状態にあてはまる端末の合計台数が表示されます。クリックすると各端末の状態を確認できます。

状態	説明
インストール済み（手動インストール）※	配信以前に端末利用者がアプリを手動でインストールしていた端末です。
インストール済み（管理バージョンと異なる）※	配信設定時に指定した管理バージョンと一致していないバージョンのアプリがインストールされている端末です。
インストール済み	配信したアプリが正常にインストールされた端末です。

※「未適用台数」「インストール台数」の両方にカウントされます。

④有効期限

In-House(自社開発)アプリの動作に必要な、プロビジョニングプロファイルの有効期限を表示しています。有効期限が切れている場合、「プロビジョニングプロファイルを配信する」(p.49)を参照して有効期限内のプロビジョニングプロファイルを配信してください。

⑤メッセージ表示

次の状態にあてはまる端末を選択した時、メッセージが表示されます。

状態	メッセージ
「状態」にアイコン表示なし、 未適用端末0台かつインストール済み端末0台	管理アプリが配信されていません。[インストール]をクリックし、端末への配信を行ってください。
「状態」にアイコン表示なし、 未適用端末1台以上	編集された管理アプリが配信されていません。配信するには以下のいずれかを行ってください。 ・[インストール]をクリックし、インストールを行う ・[未適用台数]リンクをクリックし、未適用端末一覧から[今すぐ再配信]を行う

◆ 各項目の説明-未適用端末一覧

「未適用端末一覧」画面で、アプリの配信結果を確認する際に参照する項目について説明します。

未適用端末一覧

未適用端末

エクスポート

状態

インストール済み (管理バージョンと異なる): (3)

<input type="checkbox"/>		No	名前 (端末名)	状態	操作	状態確認日時	最新配信日時	最新稼働確認日時
<input type="checkbox"/>		26	飯田 太郎 (iPhone_00000026)	インストール済み (管理バージョンと異なる)		2012/03/24 11:35	2012/03/24 11:35	2012/04/15 14:24:5
<input type="checkbox"/>		34	小林 哲司 (iPad_00000034)	インストール済み (管理バージョンと異なる)		2012/03/24 11:35	2012/03/24 11:35	2012/03/15 11:00:0
<input type="checkbox"/>		27	畠山 哲夫 (iPhone_00000027)	インストール済み (管理バージョンと異なる)		2012/03/24 11:35	2012/03/24 11:35	2012/04/16 06:53:2

①状態

アプリの配信状態を表します。クリックすると各端末の状態を確認できます。

状態	説明
未インストール	配信したアプリがまだインストールされていない端末です。
インストール済み (手動インストール)	配信以前に端末利用者がアプリを手動でインストールしていた端末です。
インストール済み (管理バージョンと異なる)	配信設定時に指定した管理バージョンと一致していないバージョンのアプリがインストールされている端末です。

②操作

アプリの配信状態を表すアイコンが表示されます。アイコンの意味は次のとおりです。

アイコン	状態	説明
	インストール	アプリを新規登録し配信した状態、または新バージョンのアプリを登録後、配信した状態です。
	アンインストール	アンインストール配信済みの状態です。
なし	なし	アプリを新規登録し配信したが、インストールされる前にアプリのバージョンが変更された状態、または新バージョンのアプリを登録したが、どこにも配信していない状態です。

◆ 各項目の説明-インストール済み端末一覧

「インストール済み端末」画面で、アプリの配信結果を確認する際に参照する項目について説明します。

インストール済み端末一覧

インストール済み端末

管理バージョン2.5.1

App Store のバージョン2.5.1

管理バージョンと異なる端末3台

エクスポート

状態

インストール済み (管理バージョンと異なる): (3)

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	No	名前 (端末名)	状態	操作	状態確認日時	最新配信日時	最新稼働確認日時
<input type="checkbox"/>		26	飯田 太郎 (iPhone_000000026)	インストール済み (管理バージョンと異なる)		2012/03/24 11:35	2012/03/24 11:35	2012/04/15 14:2
<input type="checkbox"/>		34	小林 哲司 (iPad_000000034)	インストール済み (管理バージョンと異なる)		2012/03/24 11:35	2012/03/24 11:35	2012/03/15 11:0
<input type="checkbox"/>		27	畠山 哲夫 (iPhone_000000027)	インストール済み (管理バージョンと異なる)		2012/03/24 11:35	2012/03/24 11:35	2012/04/16 06:5

①状態

アプリの配信状態を表します。クリックすると各端末の状態を確認できます。

状態	説明
未インストール	配信したアプリがまだインストールされていない端末です。
インストール済み (手動インストール)	配信以前に端末利用者がアプリを手動でインストールしていた端末です。
インストール済み (管理バージョンと異なる)	配信設定時に指定した管理バージョンと一致していないバージョンのアプリがインストールされている端末です。

②操作

アプリの配信状態を表すアイコンが表示されます。アイコンの意味は次のとおりです。

アイコン	状態	説明
	インストール	新バージョンのアプリを登録後、配信した状態です。
	アンインストール	アンインストール配信済みの状態です。
なし	なし	インストール済み、または新バージョンのアプリを登録したが、配信していない状態です。

◆ アプリ配信機能で配信したアプリについて



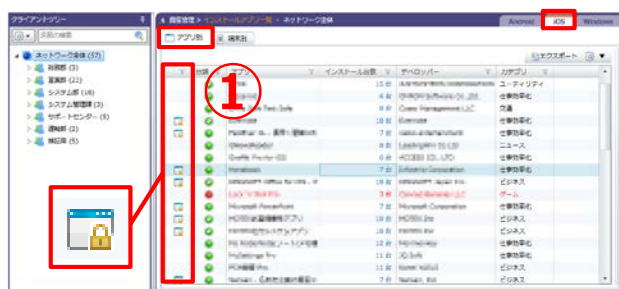
「アプリ配信」画面に登録したアプリは、インストールアプリ一覧画面で「管理されているアプリ」として表示されます。また、各端末にインストールされているアプリが、「アプリ配信」機能で配信されたものかどうかについても確認できます。

1. 「資産管理」メニューを選択し「インストールアプリ一覧」をクリックします。

2. 右上のタブを「iOS」に切り替えます。

- 「アプリ別」タブの左端の列(①)にアイコンが表示されている場合、「アプリ配信」画面に登録しているアプリ＝「管理されているアプリ」であることを表します。

【インストールアプリ一覧】

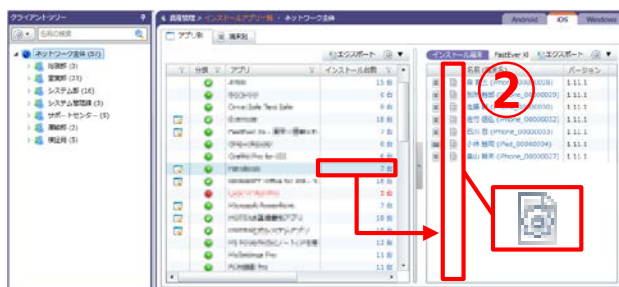


- 「アプリ別」タブでさらに「インストール台数」列の台数をクリックすると、該当のアプリがどの端末にインストールされているかを確認できます。

この画面の左から2番目の列(②)にアイコンが表示されている場合、そのアプリがアプリ配信機能で配信されたものであることを表します。

逆に、アイコンが表示されていない場合、アプリ配信機能以外の方法でインストールされたものであることを表します。

【インストールアプリ一覧】



アプリの配信が完了しない時に対処する

アプリが配信されない場合は、状態に応じて以下の通り対処します。

◆ 状態が「**未インストール**」の場合



アプリがインストールされていません。
端末にインストールダイアログが表示された時に「戻る」をタップしたか、アプリがまだ配信されていない可能性があります。

- 状態を更新してもインストール済みにならないかを確認します。

◆手順A : **すぐに配信アプリのインストール状況を確認する(p.31)を参照します**

- 必要に応じて「今すぐ再配信」を設定してすぐにアプリを配信します。

◆手順B : **すぐにアプリを再配信する(p.32)を参照します。**

◆ 状態が「**インストール済み(手動インストール)**」の場合



LanScope Anのアプリ配信以外の方法(手動など)で、既に端末にアプリがインストールされています。

- 該当アプリをAnで管理したい場合は、端末から手動でアプリをアンインストールします。
- 必要に応じて「今すぐ再配信」を設定してすぐにアプリを配信します。

◆手順B : **すぐにアプリを再配信する(p.32)を参照します。**

◆ 状態が「インストール済み(管理バージョンと異なる)」の場合



管理コンソールに登録しているアプリと異なるバージョンのアプリがインストールされています。

● App Storeに公開されているアプリの場合

• 管理コンソールに登録しているアプリのバージョンが古い場合

管理コンソールに登録しているアプリのバージョンを最新のものに更新します。更新が完了して管理コンソールと端末のアプリのバージョンが一致すれば、状態が「インストール済み」に変わります。

「App Storeで最新バージョンのアプリが公開された場合にアプリを管理する」(p.34)を参照します。

• 端末にインストールされているアプリのバージョンが古い場合

端末使用者に連絡して、App Storeからアプリのアップデートを実施するよう伝えます。アップデートが完了したあと、必要に応じて「今すぐ状態を取得」を設定して状態を取得します。管理コンソールと端末のアプリのバージョンが一致すれば、状態が「インストール済み」に変わります。

◆手順A：すぐに配信アプリのインストール状況を確認する(p.31)を参照します。

● In-House(自社開発)アプリの場合

• 管理コンソール側で、In-House(自社開発)アプリのバージョンをアップデート(p.36)した場合で、端末側でバージョンアップが実施されていない場合

1. 状態を更新してもインストール済みにならないかを確認します。

◆手順A：すぐに配信アプリのインストール状況を確認する(p.31)を参照します。

2. 必要に応じて「今すぐ再配信」を設定してすぐにアプリを配信します。

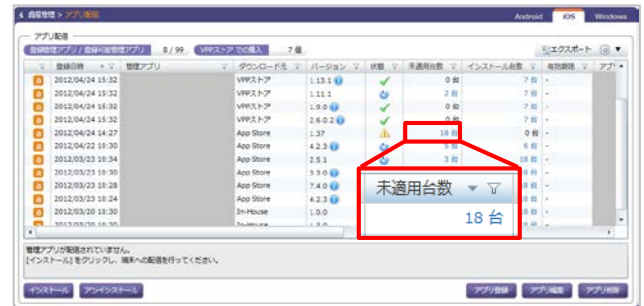
◆手順B：すぐにアプリを再配信する(p.32)を参照します。

◆手順A：すぐに配信アプリのインストール状況を確認する

アプリの配信結果は、通常An構成プロファイルの登録から12時間周期で更新されますが、すぐに確認したい場合は次の手順を実施します。

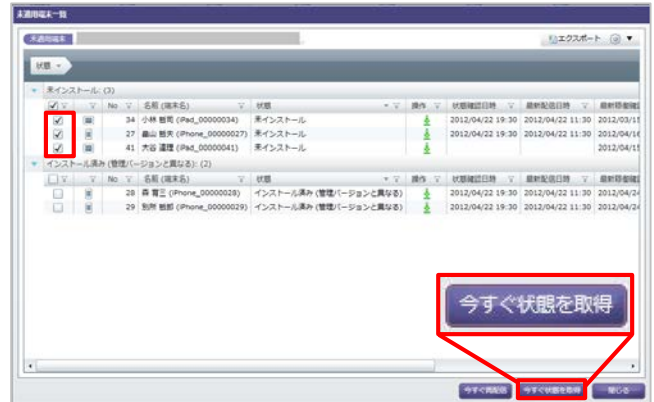
1. 「資産管理」メニューを選択し「アプリ配信」をクリックします。
2. 「未適用台数」をクリックします。

【アプリ配信】

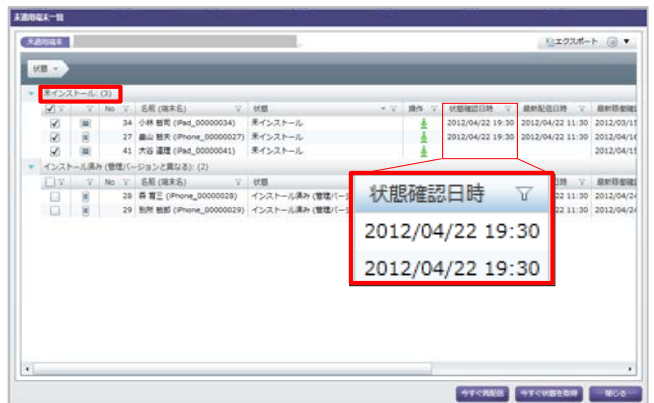


3. 状態を取得したい端末にチェックを入れて「今すぐ状態を取得」をクリックします。

【未適用端末一覧】



4. 管理コンソール右上のリロードボタンをクリックした時に、「未適用端末一覧」もしくは「インストール済み端末一覧」の「状態確認日時」が更新されたことを確認して「状態」を確認します。



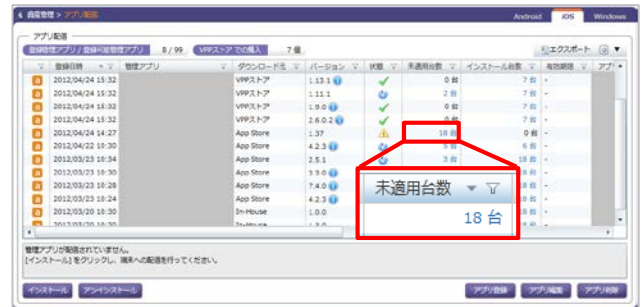
※iOS端末への命令には、Apple社のPush通知サーバであるAPNsを使用しています。
APNsの処理能力(仕様未公開)によりPush通知に遅延が発生することがありますが、その場合「今すぐ状態を取得」を設定しても、最大12時間アプリのインストール状況が反映されない場合があります。

◆手順B：すぐにアプリを再配信する

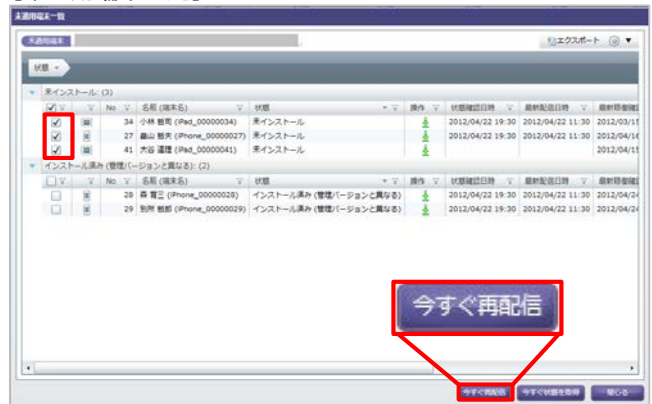
アプリの配信設定を行うと端末にアプリのインストールダイアログが表示されます。端末側でインストール(アップデート)をキャンセルした場合は12時間周期で再配信されます。すぐにアプリを再配信したい場合は次の手順を実施します。

1. 「資産管理」メニューを選択し「アプリ配信」をクリックします。
2. 「未適用台数」をクリックすると、「未適用端末一覧」が表示されます。
3. 設定を適用したい端末にチェックを入れて「今すぐ再配信」をクリックします。情報ダイアログは「OK」で閉じます。

【アプリ配信】



【未適用端末一覧】



4. アプリが配信されると、端末側にインストール(アップデート)ダイアログが表示されます。インストール(アップデート)をタップします。

※ アップデートのダイアログは「iOS7.0未満の端末」もしくは「iOS7.0以降の端末で、配信したIn-House(自社開発)アプリを前面で開いている」場合のみ表示されます。それ以外の場合はアップデートは実施されますが、ダイアログは表示されません。



※ iOS端末への命令には、Apple社のPush通知サーバであるAPNsを使用しています。APNsの処理能力(仕様未公開)によりPush通知に遅延が発生することがありますが、その場合「今すぐ再配信」を設定しても、最大12時間アプリが配信されない場合があります。

配信したアプリのバージョンを管理する

配信したアプリの最新バージョンがApp Storeで公開された、もしくはIn-House(自社開発)アプリを更新した場合、管理コンソールに登録しているアプリのバージョンを最新のものに更新します。最新バージョンのアプリを登録することで、古いバージョンのアプリをインストールしている端末を確認できます。

- 4-1 App Storeで最新バージョンのアプリが公開された場合にアプリを管理する
- 4-2 In-House(自社開発)アプリをアップデートする

guide

4

App Storeで最新バージョンのアプリが公開された場合にアプリを管理する

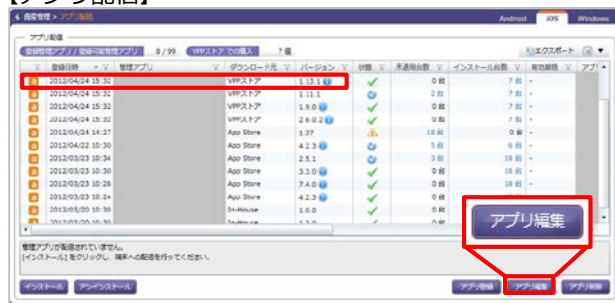


配信したアプリの新しいバージョンがApp Storeで公開された場合、管理コンソールに登録しているアプリのバージョンを最新のものに更新することで、バージョンが古いアプリをインストールしている端末を把握できます。

1. 「資産管理」メニューを選択し「アプリ配信」をクリックします。
2. App Storeに新しいバージョンが公開されているアプリは、アプリ配信画面に ⓘ アイコンが表示されます。

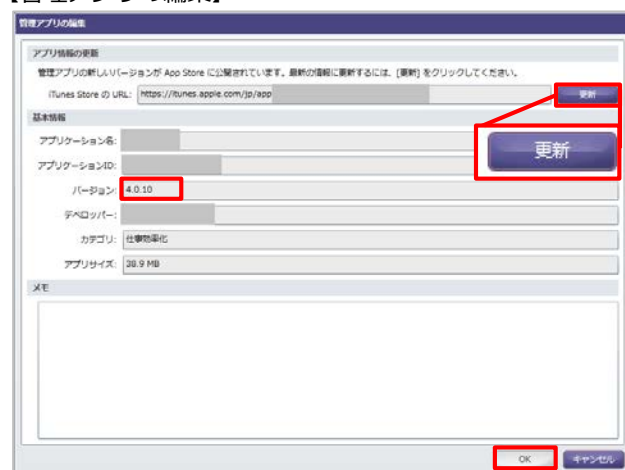
アイコンが表示されているアプリを選択して「アプリ編集」をクリックします。

【アプリ配信】



3. iTunes StoreのURLの横に表示されている「更新」をクリックします。
4. バージョンが最新のものに更新されたことを確認して「OK」をクリックします。

【管理アプリの編集】



5. バージョンが古いアプリをインストールしている端末は、「未適用台数」にカウントされます。

「インストール済み(管理バージョンと異なる)」と記載されている端末の使用者に連絡して、App Storeからアプリのアップデートを実施するよう伝えます。

端末にインストール済みのアプリのアップデートが完了し、12時間ごとの資産情報取得や「今すぐ状態を取得」(p.31)などで端末の情報が更新され、管理コンソールと端末のアプリのバージョンが一致すれば、状態が「インストール済み」に変わります。

【未適用端末一覧】

選択	ステータス	No.	名前 (端末名)	バージョン	状態	操作	状態確認日時	最新更新日時	最終更新日時
<input checked="" type="checkbox"/>	インストール済み	34	小林 哲也 (iPad_000000034)	1.0.0	インストール済み	インストール	2012/04/22 19:30	2012/04/22 11:30	2012/03/15
<input checked="" type="checkbox"/>	インストール済み	27	藤田 哲也 (iPhone_000000027)	1.0.0	インストール済み	インストール	2012/04/22 19:30	2012/04/22 11:30	2012/04/16
<input checked="" type="checkbox"/>	インストール済み	41	大谷 謙二 (iPad_000000041)	1.0.0	インストール済み	インストール	2012/04/22 19:30	2012/04/22 11:30	2012/04/15
インストール済み (管理バージョンと異なる) (2)									
<input type="checkbox"/>	インストール済み (管理バージョンと異なる)	28	藤田 哲也 (iPhone_000000028)	1.0.0	インストール済み (管理バージョンと異なる)	インストール	2012/04/22 19:30	2012/04/22 11:30	2012/04/24
<input type="checkbox"/>	インストール済み (管理バージョンと異なる)	29	大谷 謙二 (iPhone_000000029)	1.0.0	インストール済み (管理バージョンと異なる)	インストール	2012/04/22 19:30	2012/04/22 11:30	2012/04/24

◆注意

App Storeに公開されているアプリをアップデートする場合は、必ず端末上で手動アップデートしてください。

一旦管理コンソールからアンインストールを実施して、再度アプリを配信する方法でのアップデートは行わないようにしてください。

In-House(自社開発)アプリをアップデートする

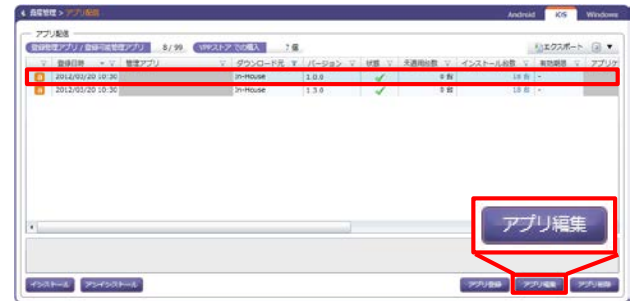


「アプリ配信」機能で配信したIn-House(自社開発)アプリをアップデートしたい場合、次のファイルを用意します。用意したファイルを元に次の手順を実施することで、In-House(自社開発)アプリをアップデートできます。

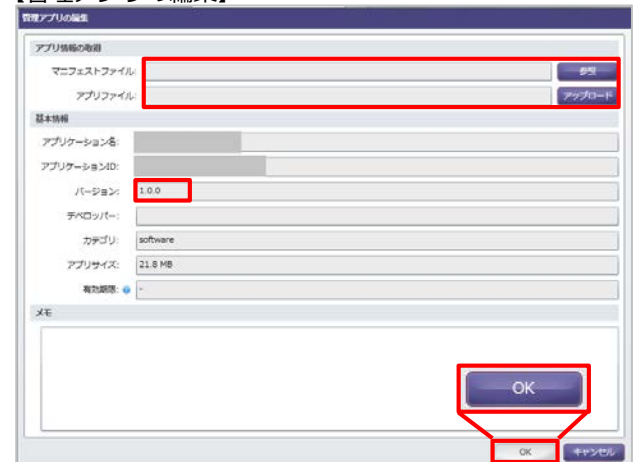
- 以前配信したアプリと同じ「アプリケーション名/アプリケーションID」を持つマニフェストファイル
- 以前配信したアプリと同じ「アプリケーション名/アプリケーションID」を持つアプリファイル

1. 「資産管理」メニューを選択し「アプリ配信」をクリックします。
2. アップデートしたいIn-House(自社開発)アプリをクリックして「アプリ編集」をクリックします。
3. 「参照」をクリックして、新しい「マニフェストファイル」を選択します。

【アプリ配信】



【管理アプリの編集】



◆注意

- 「manifest.plist」ファイルに記載される値「Display Image URL」と「Full Size Image URL」には、接続できるURLを設定してください。
- Xcode9でIn-House(自社開発)アプリを開発した場合、「manifest.plist」ファイルを選択してください。

4. 「アップロード」をクリックして、アップロードする「アプリファイル」を選択します。選択が完了したら、「OK」をクリックします。アップロードできるファイルの拡張子は【.ipa】です。JavaScriptが無効である場合、「アップロード」をクリック時にエラーが表示されます。その際はJavaScriptを有効にしてください。

◆注意

アプリファイルのファイルサイズが600MBを超える場合、In-House(自社開発)アプリは登録できません。

5. ダイアログが表示されますので「OK」をクリックして閉じます。

◆注意

「管理アプリの編集」画面からアプリを更新したあと、管理者が配信の操作を行わないと、アプリが配信されません。

続いて、次ページ以降の「インストール」手順を実施します。

【アップロードダイアログ】

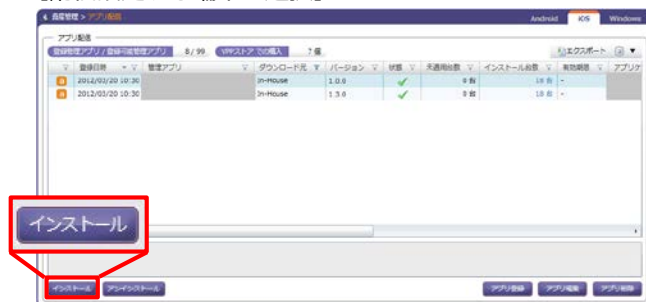


【情報ダイアログ】



6. (前ページの手順で「アプリ編集」を実施したあと)「インストール」をクリックします。

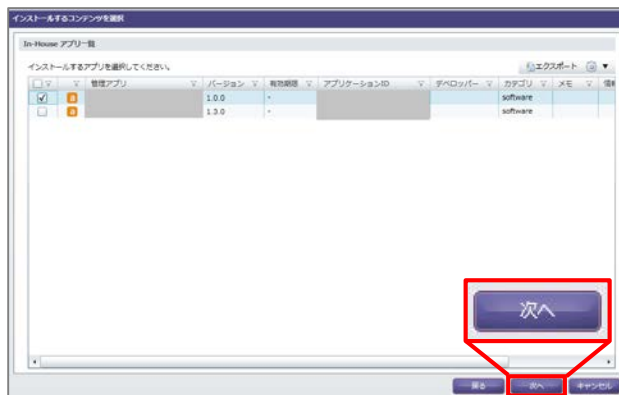
【配信設定する端末を選択】



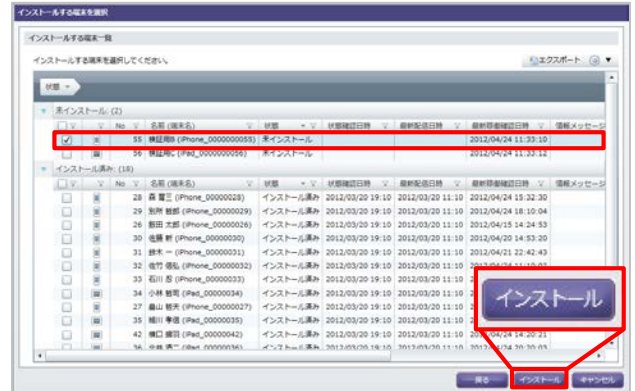
7. 「In-House」を選択し、「次へ」をクリックします。



8. 配信するアプリにチェックをいれて「次へ」をクリックします。



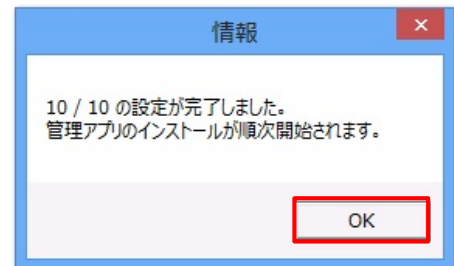
9. アプリを配信したい端末にチェックをいれて「インストール」をクリックします。端末に新しいIn-House(自社開発)アプリが配信され、アップデートが行われます。



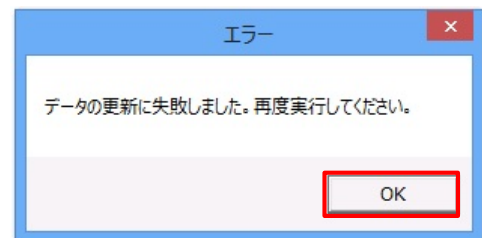
10. 配信の結果をダイアログで表示します。
確認したら「OK」をクリックして閉じます。
(失敗の場合は「OK」をクリックすると「アプリ配信」画面に戻ります。)

※アップデートが失敗する場合、サーバーが停止していたりネットワークが不調な場合が考えられます。
ネットワークが切断されていないか確認する、または、しばらく待ってからご利用ください。

【アップデートが成功した場合のダイアログ】

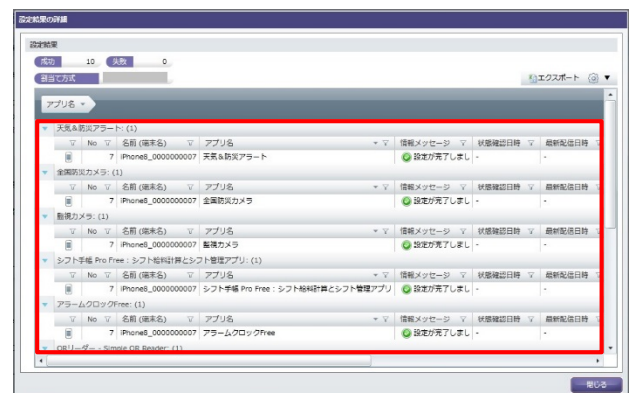


【アップデートが失敗した場合のダイアログ】



11. 「設定結果の詳細」画面で、配信結果の詳細を確認します。

配信結果の確認方法は「配信結果を確認して対処する」(p.22)を参照します。



以上でIn-House(自社開発)アプリのアップデート設定は完了です。

◆ポイント

端末側での操作について

In-House(自社開発)アプリのアップデートが行われた際、基本的にダイアログは表示されませんので、端末側での操作は不要です。

ただし、次の**どちらかの条件**に合致する場合は、端末側にダイアログが表示されますので「アップデート」をタップする必要があります。

- ・ iOS 7.0未満の端末の場合
- ・ iOS 7.0以降の端末で、配信したIn-House(自社開発)アプリを前面で開いている場合

配信したアプリを端末からアンインストールする

配信したアプリを端末からアンインストールします。
業務アプリの入替えなどで不要になったアプリを遠隔でアンインストールできます。

- 5-1 配信したアプリを端末からアンインストールする
- 5-2 アプリの配信設定を削除する

guide

5

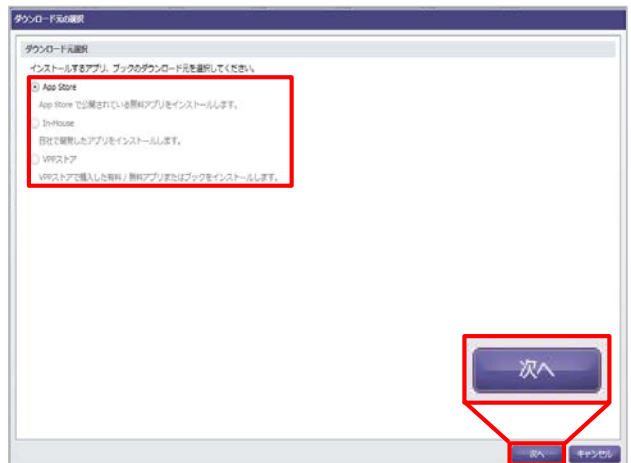
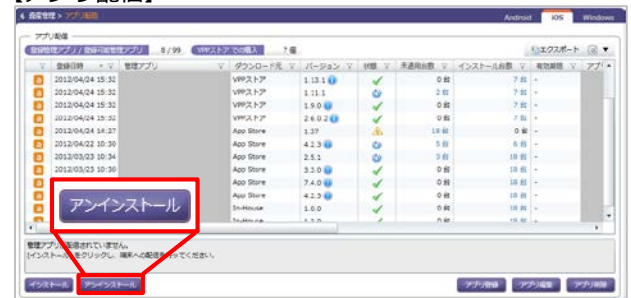
配信したアプリを端末からアンインストールする

5-1

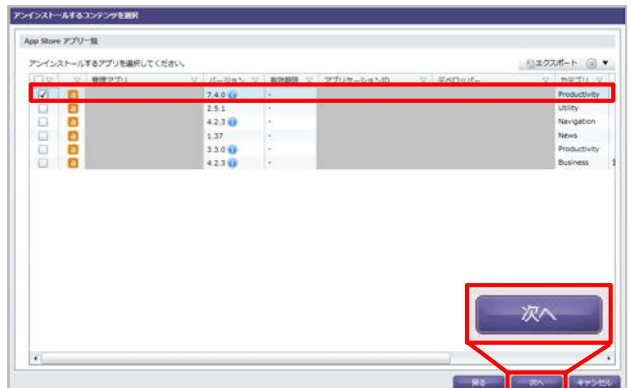


1. 「資産管理」メニューを選択し「アプリ配信」をクリックします。
2. 「アンインストール」をクリックします。
3. アンインストールしたいアプリの種類を選択し「次へ」をクリックします。

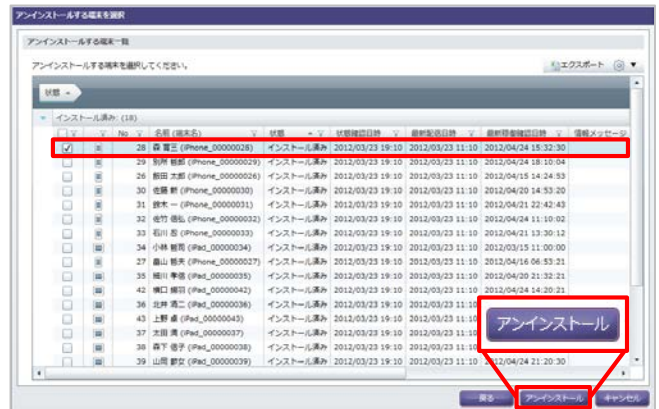
【アプリ配信】



4. アンインストールしたいアプリにチェックをいれて「次へ」をクリックします。



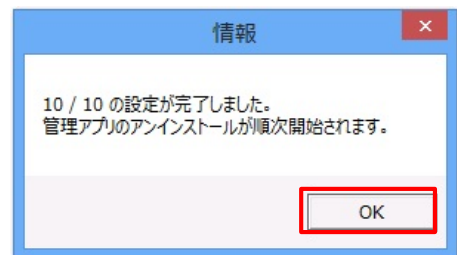
5. アプリをアンインストールしたい端末にチェックをいれて「アンインストール」をクリックします。



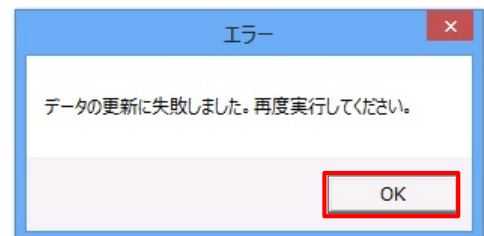
6. 配信の結果をダイアログで表示します。
確認したら「OK」をクリックして閉じます。
(失敗の場合は「OK」をクリックすると「アプリ配信」画面に戻ります。)

※アンインストールが失敗する場合、サーバーが停止していたりネットワークが不調な場合が考えられます。
対処方法としては、ネットワークが切断されていないか確認する、または、しばらく待ってからご利用ください。

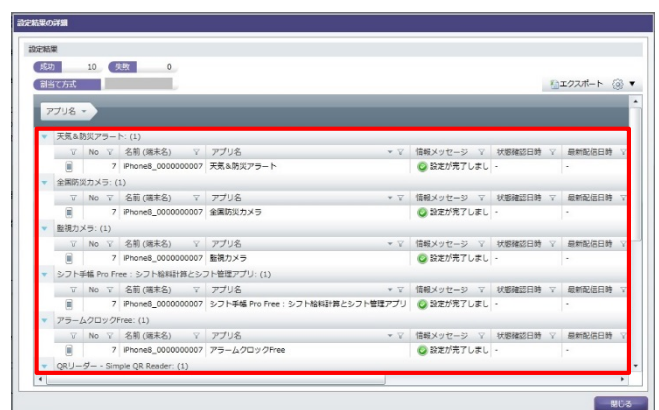
【アンインストールが成功した場合のダイアログ】



【アンインストールが失敗した場合のダイアログ】



7. 「設定結果の詳細」画面で、配信結果の詳細を確認します。



端末から選択したアプリがアンインストールされます。
アプリの配信設定自体を削除したい場合は、このまま「アプリの配信設定を削除する」(p.45)に進みます。

◆ポイント

- **今すぐアンインストールしたい場合**

「すぐにアプリを再配信する」(p.32)の手順でアンインストール設定をすぐに端末に反映できます。

- **アンインストールされたかを確認する場合**

「すぐに配信アプリのインストール状況を確認する」(p.31)の手順ですぐに配信アプリのインストール状況を取得できます。アプリ配信画面の「インストール台数」をクリックした時に、該当端末の情報が消えていれば、アプリがアンインストールされたと判断できます。

アプリの配信設定を削除する

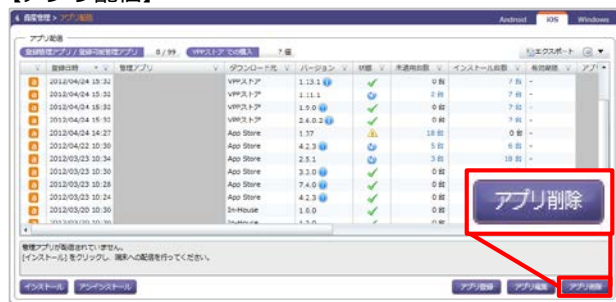
5-2



「配信したアプリを端末からアンインストールする」(p.41)の手順を実施せずにアプリの配信設定を削除した場合、端末にアプリが残ったままになります。配信設定の削除後、端末から該当アプリをアンインストールしたい場合は手動でアンインストールしてください。

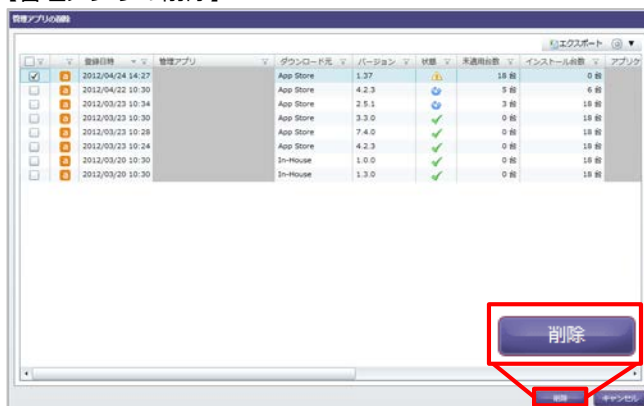
【アプリ配信】

1. 「資産管理」メニューを選択し「アプリ配信」をクリックします。
2. 「アプリ削除」をクリックします。



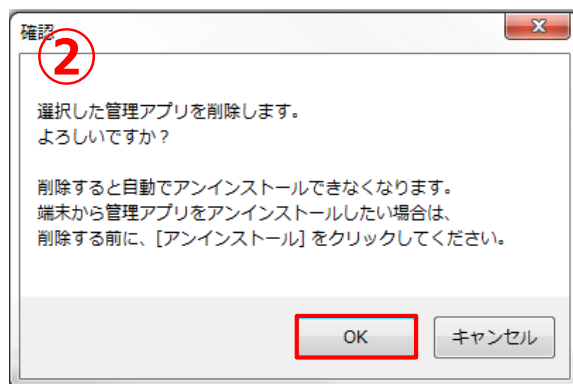
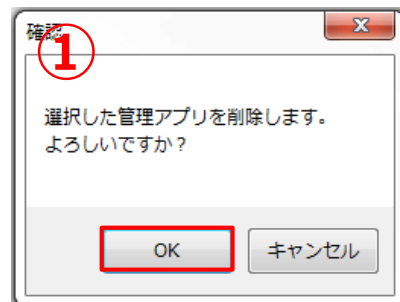
3. 削除したい配信設定にチェックを入れて「削除」をクリックします。

【管理アプリの削除】



4. ダイアログが表示されますので「OK」をクリックして閉じます。

※端末に該当のアプリを配信していない場合は①のダイアログ、端末に該当のアプリが配信済みの場合は②のダイアログが表示されます。



◆注意

- アプリ配信画面から登録した管理アプリを削除した場合、次の動作に影響します。
 - ・ アプリのアンインストール設定ができなくなります(p.41)。
 - ・ 端末からアプリがアンインストールされた場合に、自動的に再配信されなくなります。
- 端末からAn構成プロファイルをアンインストールした場合、アプリ配信機能で配信したアプリもアンインストールされます。

プロビジョニングプロファイルを管理する

In-House(自社開発)アプリに必要なプロビジョニングプロファイルを管理します。

guide

6

- 6-1 プロビジョニングプロファイルとは？
- 6-2 プロビジョニングプロファイルを配信する
- 6-3 プロビジョニングプロファイルの配信結果を確認する
- 6-4 プロビジョニングプロファイルの配信が完了しない時に再配信する
- 6-5 配信したプロビジョニングプロファイルを端末からアンインストールする
- 6-6 プロビジョニングプロファイルの配信設定を削除する

プロビジョニングプロファイルとは？

プロビジョニングプロファイルは、In-House(自社開発)アプリ（ipaファイル）が動作するために必要な情報をまとめ、定義しているファイルで、アプリが動作するために必須となるものです。プロビジョニングプロファイルには有効期限があり、1年ごとに更新が必要です。有効期限が切れた場合、In-House(自社開発)アプリが利用できなくなります。In-House(自社開発)アプリを継続して利用するためには、有効期限前に端末のプロビジョニングプロファイルを更新する必要があります。

LanScope Anでは、プロビジョニングプロファイルを端末へ配信し、更新することができます。プロビジョニングプロファイルは、お客様ご自身でApple社の公式サイトである「Apple Developer – Member Center」から作成いただき、LanScope Anの管理画面にアップロードする必要があります。

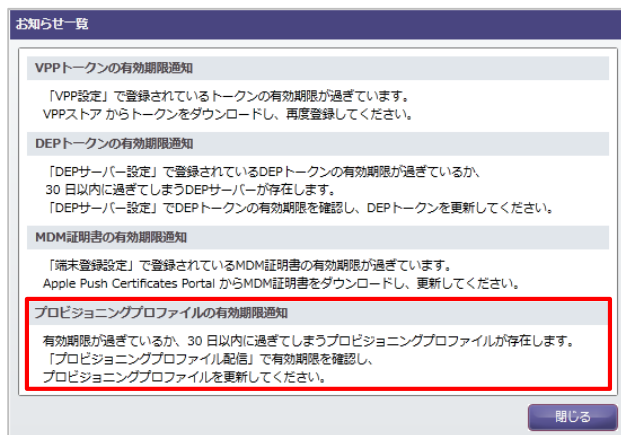
プロビジョニングプロファイルの作成に必要なもの

プロビジョニングプロファイルを作成するためには、Apple Developer Enterprise Program専用のApple IDが必要です。「Apple Developer – Member Center」にアクセスする際に、ログインID・パスワードとしてApple IDの情報を求められます。

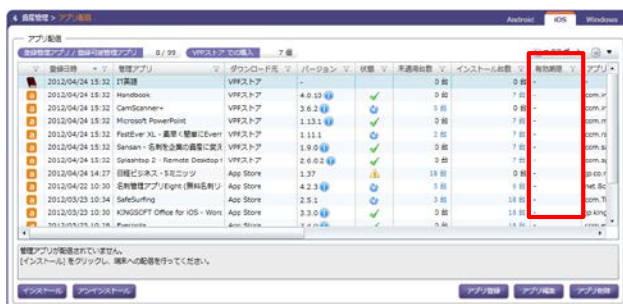
プロビジョニングプロファイルの有効期限の確認

プロビジョニングプロファイルの有効期限が残り30日以内になった場合、管理コンソールにログインした際にポップアップで通知されます。また、プロビジョニングプロファイルの有効期限は資産管理の「アプリ配信」画面、または「プロビジョニングプロファイル配信」画面の「有効期限」欄に表示され、「プロビジョニングプロファイル配信」画面では、有効期限が切れている場合赤文字で表示されます。

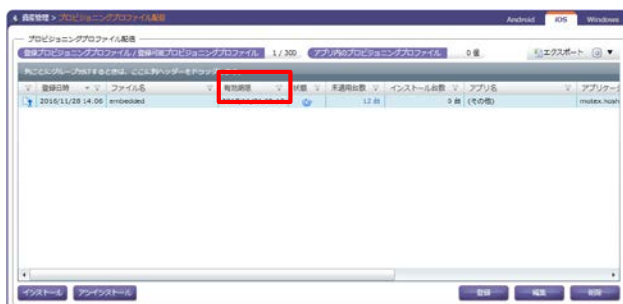
【ポップアップ】



【アプリ配信】



【プロビジョニングプロファイル配信】



プロビジョニングプロファイルを配信する

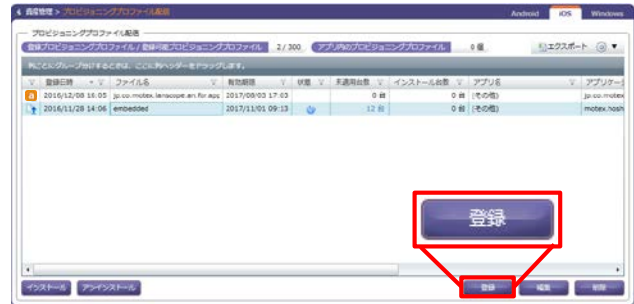
6-2



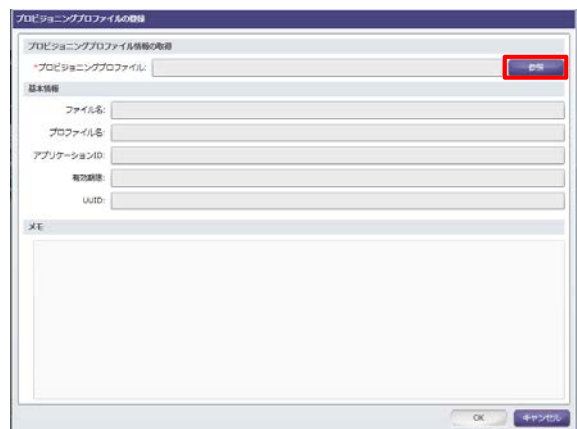
「Apple Developer – Member Center」で作成したプロビジョニングプロファイルを管理コンソールに登録し、端末に配信します。

1. Apple社の公式サイト「Apple Developer – Member Center」にて、あらかじめプロビジョニングプロファイルを作成しておきます。
2. 「資産管理」メニューを選択し「プロビジョニングプロファイル配信」をクリックします。
3. 「登録」をクリックします。
4. 「プロビジョニングプロファイルの登録」画面の「参照」をクリックします。

【プロビジョニングプロファイル配信】

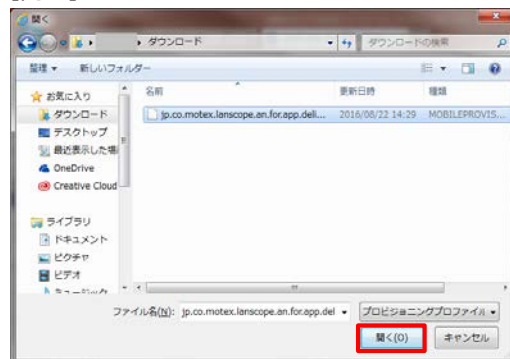


【プロビジョニングプロファイルの登録】



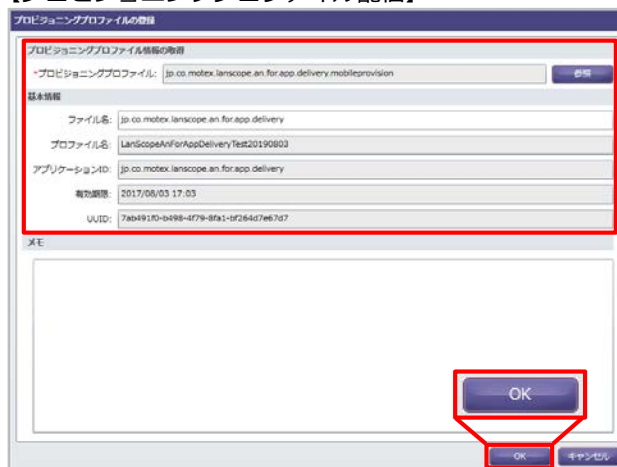
5. 「開く」ダイアログが開きます。登録したいプロビジョニングプロファイルを選択し、「開く」をクリックします。
アップロードできるファイルの拡張子は【.mobileprovision】です。

【開く】



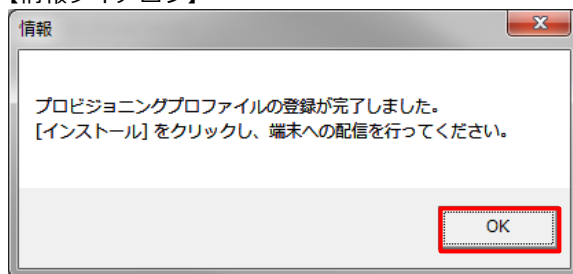
6. プロビジョニングプロファイルのアップロードが完了すると、基本情報欄に詳細情報が自動的に反映されます。確認して問題がなければ、「OK」をクリックします。

【プロビジョニングプロファイル配信】



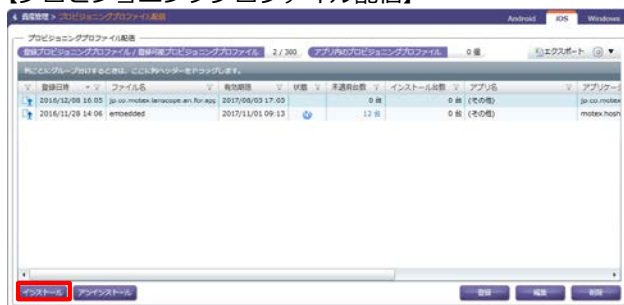
7. ダイアログが表示されますので、「OK」をクリックします。

【情報ダイアログ】



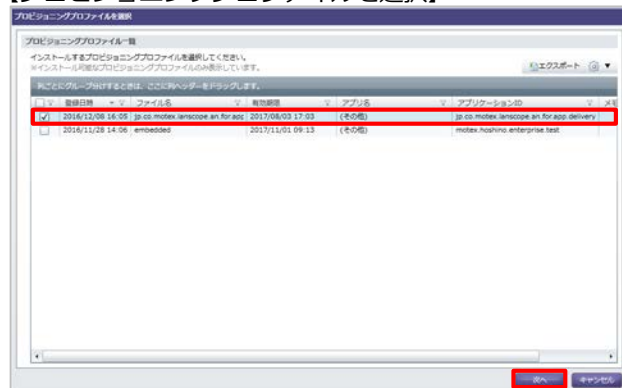
8. 「プロビジョニングプロファイル配信」に戻るので、「インストール」をクリックします。

【プロビジョニングプロファイル配信】



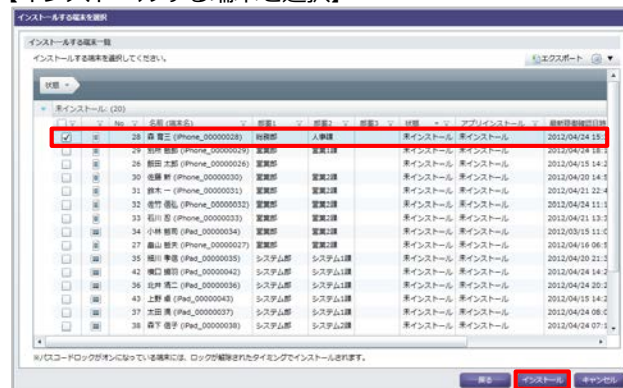
9. 「プロビジョニングプロファイルを選択」画面で配信したいプロビジョニングプロファイルにチェックをいれて、「次へ」をクリックします。

【プロビジョニングプロファイルを選択】



10. 「インストールする端末を選択」画面で、配信したい端末にチェックを入れて、「インストール」をクリックします。

【インストールする端末を選択】

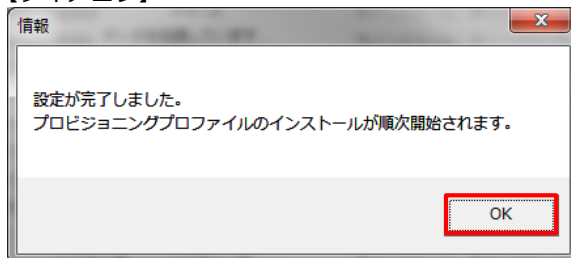


◆注意

プロビジョニングプロファイルのインストールは、iOS端末がパスコードロック状態だと実行されません。ロックが解除されたタイミングで自動的に実行されます。

11. ダイアログが表示されますので、「OK」をクリックして閉じます。

【ダイアログ】



以上でプロビジョニングプロファイルの配信設定は完了です。

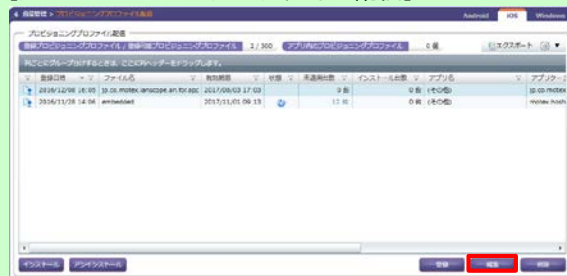
◆ポイント

プロビジョニングプロファイル配信の編集手順について

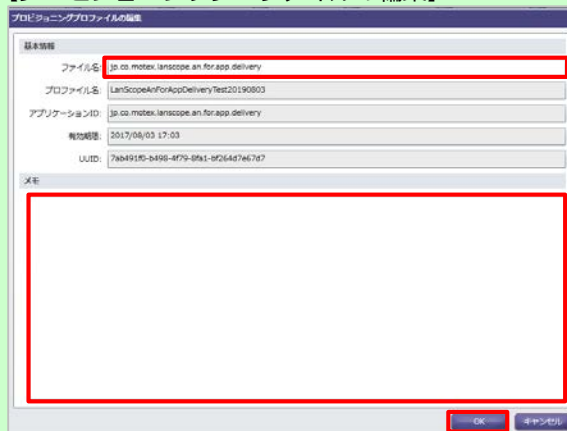
「プロビジョニングプロファイル配信」画面の「編集」ボタンをクリックすると、「プロビジョニングプロファイルの編集」画面からファイル名とメモを編集することができます。

内容を編集し、「OK」をクリックすると編集が完了します。

【プロビジョニングプロファイル配信】



【プロビジョニングプロファイルの編集】



プロビジョニングプロファイルの配信結果を確認する

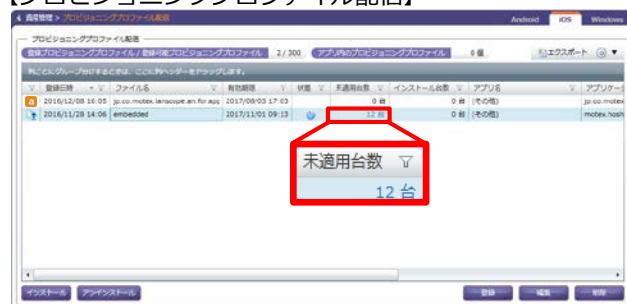


プロビジョニングプロファイルが端末に配信されているかどうかを確認します。

1. 「資産管理」メニューを選択し「プロビジョニングプロファイル配信」をクリックします。
2. 「ファイル名」列から該当のプロビジョニングプロファイルを確認し、「未適用台数」と「インストール台数」を確認します。

未適用端末がある場合は詳細を確認するために「未適用台数」をクリックします。

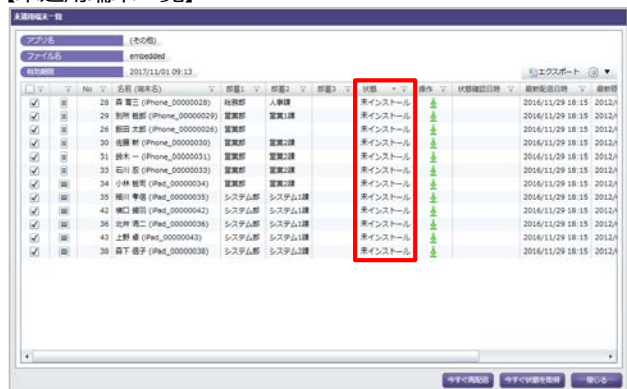
【プロビジョニングプロファイル配信】



3. 未適用端末の一覧画面で「状態」を確認します。表示された「状態」をもとに、「プロビジョニングプロファイルの配信が完了しない時に再配信する」(p.56)を確認して対処します。

※「状態アイコン」「未適用台数/インストール台数」の説明については、次のページを参照してください。

【未適用端末一覧】



◆ポイント

プロビジョニングプロファイルの配信結果を、今すぐ管理コンソールに反映したい場合

プロビジョニングプロファイルの配信結果は、通常、配信から12時間周期で更新されます。すぐに確認したい場合は「未適用端末一覧」画面で「今すぐ状態を取得」をクリックします。

◆ 各項目の説明-プロビジョニングプロファイル配信

「プロビジョニングプロファイル配信」画面で、プロビジョニングプロファイルの配信結果を確認する際に参照する項目について説明します。

登録日時	ファイル名	有効期限	状態	未適用台数	インストール台数	アプリ名	アプリケーション
2016/12/08 16:05	jp.co.motex.lanscope.an.for.app	2017/08/03 17:03		0 台	0 台	(その他)	jp.co.motex
2016/11/28 14:06	embedded	2017/11/01 09:13		12 台	0 台	(その他)	motex.hosh

① ファイル区分

プロビジョニングプロファイルの区分を表すアイコンが表示されます。アイコンの意味は次のとおりです。

アイコン	状態	説明
	In-Houseアプリ内の プロビジョニングプロファイル	「アプリ配信」で登録したもの
	[有効期限切れ] In-Houseアプリ内の プロビジョニングプロファイル	「アプリ配信」で登録したものでプロビジョニング プロファイルの有効期限が切れたもの
	登録した プロビジョニングプロファイル	「プロビジョニングプロファイル配信」で登録したもの ※
	[有効期限切れ] 登録した プロビジョニングプロファイル	「プロビジョニングプロファイル配信」で登録したもので プロビジョニングプロファイルの有効期限が切れたもの

※ 「プロビジョニングプロファイル配信」画面で登録した有効期限内のプロビジョニングプロファイル()のみ管理コンソールからインストール・アンインストールが実行できます。

② 状態

プロビジョニングプロファイルの配信状態を表すアイコンが表示されます。アイコンの意味は次のとおりです。

アイコン	状態	説明
	インストール済み	インストール配信を行った端末すべてにプロビジョニング プロファイルがインストールされている
	配信中	インストール・アンインストール配信を行ったが、 配信処理が完了していない端末が存在する
	配信エラーあり	インストール・アンインストール配信を行ったが、 配信処理が失敗している端末が存在する
	配信停止	プロビジョニングプロファイルの有効期限が切れている
なし	未配信	インストール・アンインストール配信がどの端末にも 行われていない

③未適用台数

次の状態にあてはまる端末の合計台数が表示されます。クリックすると各端末の状態を確認できます。

状態	説明
インストール済み	端末にプロビジョニングプロファイルがインストールされている
未インストール	端末にプロビジョニングプロファイルがインストールされていない

④インストール台数

次の状態にあてはまる端末の合計台数が表示されます。クリックすると各端末の状態を確認できます。

状態	説明
インストール済み	端末にプロビジョニングプロファイルがインストールされている
未インストール	端末にプロビジョニングプロファイルがインストールされていない

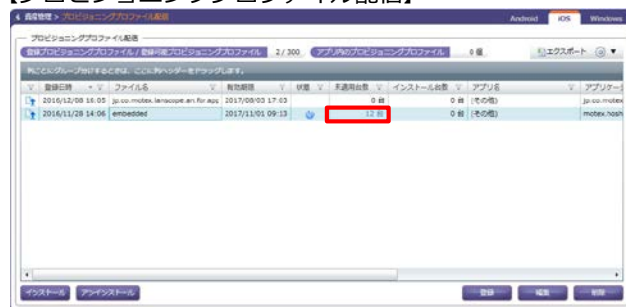
プロビジョニングプロファイルの配信が完了しない時に再配信する



プロビジョニングプロファイルの配信が完了しない時に再配信します。

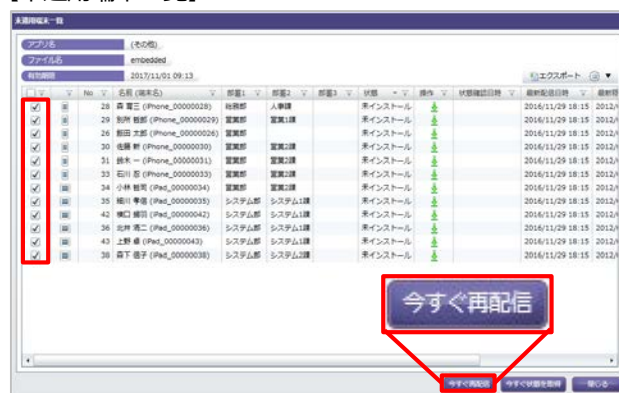
1. 「資産管理」メニューを選択し「プロビジョニングプロファイル配信」をクリックします。
2. 「未適用台数」欄の台数をクリックします。

【プロビジョニングプロファイル配信】



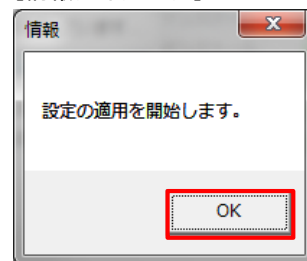
3. 「未適用端末一覧」画面で、プロビジョニングプロファイルが未適用の端末が確認できます。再配信したい端末にチェックを入れて「今すぐ再配信」をクリックします。

【未適用端末一覧】



4. ダイアログが表示されますので、「OK」をクリックして閉じます。

【情報ダイアログ】



以上でプロビジョニングプロファイルの再配信設定は完了です。

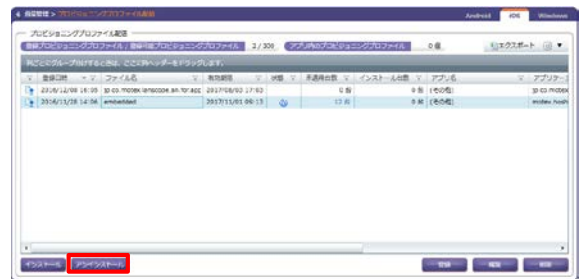
配信したプロビジョニングプロファイルを 端末からアンインストールする



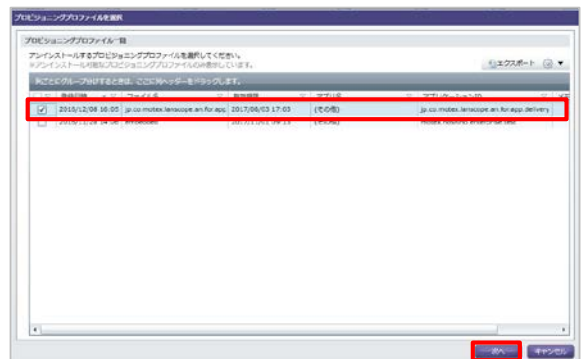
端末に配信したプロビジョニングプロファイルをアンインストールします。

1. 「資産管理」メニューを選択し「プロビジョニングプロファイル配信」をクリックします。
2. 「アンインストール」をクリックします。

【プロビジョニングプロファイル配信】



【プロビジョニングプロファイルを選択】



3. アンインストールしたいプロビジョニングプロファイルにチェックを入れて、「次へ」をクリックします。

【アンインストールする端末を選択】



4. アンインストールしたい端末にチェックを入れて、「アンインストール」をクリックします。

5. ダイアログが表示されますので、「OK」をクリックして閉じます。

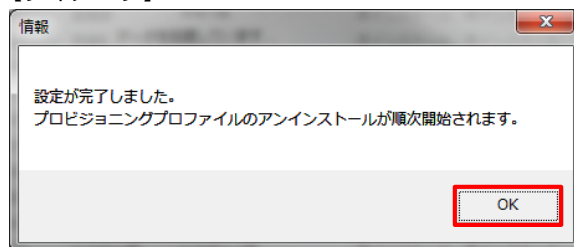
以上でプロビジョニングプロファイルのアンインストールは完了です。

◆注意

プロビジョニングプロファイル配信画面から登録を削除した場合、管理コンソールからプロビジョニングプロファイルのアンインストールが実行できません。

該当のプロビジョニングプロファイルを管理コンソールからアンインストールしたい場合は、削除したプロビジョニングプロファイルと同じ識別子のプロビジョニングプロファイルを再度管理コンソールに登録して、アンインストールを実行してください。

【ダイアログ】



プロビジョニングプロファイルの配信設定を削除する



管理コンソールに登録しているプロビジョニングプロファイルを削除します。

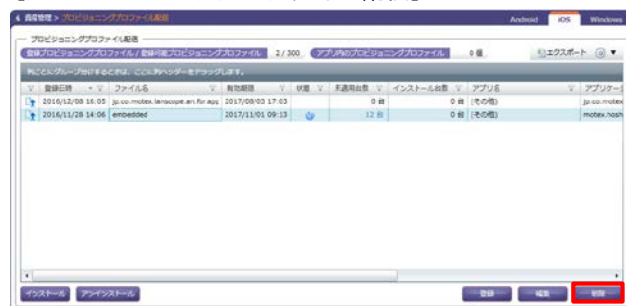
「配信したプロビジョニングプロファイルを端末からアンインストールする」(p.57)の手順を実施せずにプロビジョニングプロファイルの配信設定を削除した場合、端末にプロビジョニングプロファイルが残ったままになります。必ず管理コンソールからプロビジョニングプロファイルのアンインストールを実行後、プロビジョニングプロファイルの配信設定を削除してください。

1. 「資産管理」メニューを選択し「プロビジョニングプロファイル配信」をクリックします。

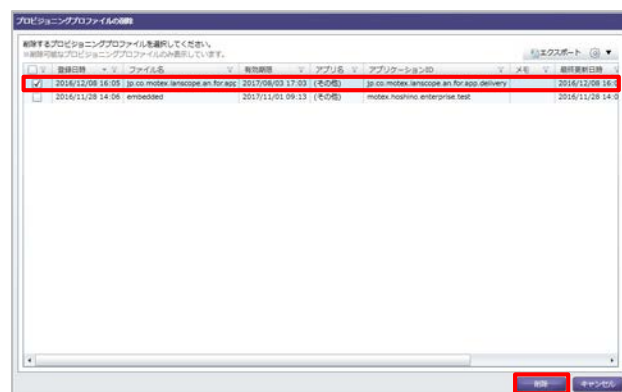
2. 「削除」をクリックします。

3. 削除したいプロビジョニングプロファイルにチェックを入れて、「削除」をクリックします。

【プロビジョニングプロファイル配信】

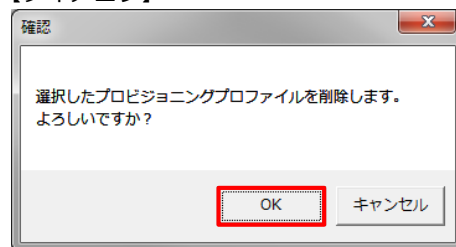


【プロビジョニングプロファイルの削除】



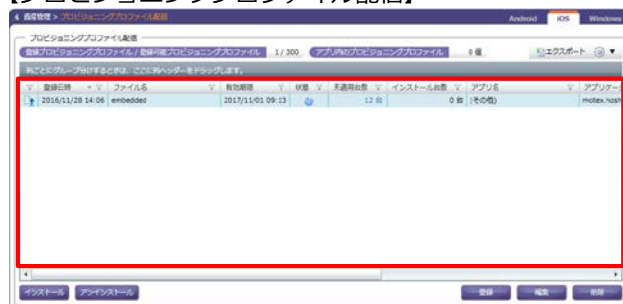
4. ダイアログが表示されますので、「OK」をクリックします。

【ダイアログ】



5. 「プロビジョニングプロファイル配信」画面に戻るので、選択したプロビジョニングプロファイルが削除されていることを確認します。

【プロビジョニングプロファイル配信】



以上で、プロビジョニングプロファイル配信設定の削除は完了です。

お問い合わせ先

お問い合わせ先

- 操作方法、トラブル、販売、お取扱いなどのお問い合わせについては、下記のURLをご参照ください。

<http://www.lanscope.jp/an/inquiry/>

- よくあるご質問(FAQ)については下記のURLをご参照ください。

https://faq.motex.co.jp/?site_domain=an

MOTEX

www.motex.co.jp